

KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

K-735

取扱説明書 保証書付

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと本書を大切に保管し、必要なときにお読みください。

株式会社 JVCケンウッド
JVC KENWOOD Corporation



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- ・お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- ・録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

安全上のご注意



異常のときは



異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いがしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コード・プラグについて



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定したりしない。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。

コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社カスタマーサポートセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

設置について



表示された電源電圧以外で使用しない

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。



機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。



機器の上でろうそくやランプなど火のついたものを置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について



分解や改造をしない、カバーを外さない

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

注意

異常のときは



落下した機器は電源プラグを抜く
機器を落したり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない
油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて



付属の電源コード以外は使用しない
火災や感電の原因となることがあります。



温度の高い場所に置かない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



付属の電源コードを本機以外には使用しない
火災や感電の原因となることがあります。



機器に乗らない
機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子さまにはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



移動させるときは電源プラグを抜く
移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけない
電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

設置について



不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります

- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全上のご注意



設置について



機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。



ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

使用について



水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。



機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。



機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社カスタマーサポートセンターにご依頼ください。



ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

電池について



電池の取り扱いに注意する

- 次のことを、必ず守ってください。
- ・ 極性表示（プラス“+”とマイナス“-”の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
 - ・ 指定の電池を使用する。
 - ・ 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
 - ・ 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
 - ・ 充電電池と乾電池を混ぜて使用しない。
 - ・ 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。

液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

音量について



はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴かない
聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

お手入れ



電源プラグを定期的に清掃する
電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。



お手入れの際は電源プラグを抜く
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となります。



定期的に内部の点検、清掃をする
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターに費用を含めご相談ください。
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス1レーザー製品です。
2. **注意**：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。



欧州連合のリサイクルマークです。

こんなことができます



いろいろなフォーマットで記録された ディスクの再生

音楽CDだけでなく、オーディオファイル（MP3/WMA/AAC）を記録したディスクの再生に対応しています。



高音質にiPod/iPhoneを楽しめる iPod/iPhone再生機能

iPod/iPhoneの音を、デジタル信号のまま、アンプに入力することができますので、音質劣化を抑えた、高精度な高音質再生を実現します。



USB接続、PC接続、アナログ入力、デジタル入力などに対応した 外部入力

USBフラッシュメモリー、USBマストレージクラスのデジタルオーディオプレーヤーの再生に対応しています。また、パソコンを接続してコンテンツを聞くためのPC入力端子、カセットデッキなどを楽しむアナログ入力端子や、デジタルチューナーなどを楽しむための、サンプリングレートコンバーター対応デジタル入力端子を搭載しています。



好みの音質を設定できる デジタルシグナルプロセッサ機能

低域、中域、高域の各帯域で詳細な音質特性の設定が可能な「TONE」や、重低音効果を調整できる「D-BASS」を搭載しています。



このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

お使いになる前に

必ずお読みください

△安全上のご注意	3
付属品について	10
設置するときは	11
接続のしかた	12
各部のなまえと働き	16
本書の見方	20
基本的な使い方	22
知っておいていただきたいこと	24

音源別操作編 ▶▶ P.27

音源別に接続や操作の方法を説明します

- ・ CD
- ・ iPod/iPhone
- ・ USB
- ・ FM/AMラジオ
- ・ パソコン (PC)
- ・ 外部機器
- ・ D.AUDIO



音質設定編 ▶▶ P.55

好みの音で聞く方法を説明します

- ・ デジタルシグナルプロセッサ
- ・ Supreme EX
- ・ Balance
- ・ Rec Out Level



機器設定編 ▶▶ P.63

本機の各種設定方法を説明します

- | | |
|----------|-------------|
| ・ 時刻設定 | ・ ディスプレイ設定 |
| ・ タイマー設定 | ・ オートパワーセーブ |



保守編 ▶▶ P.73

長くお使いいただくために

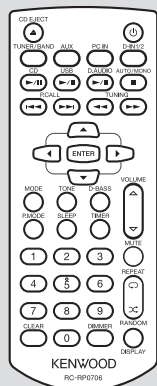
- | | |
|--------------|---------------|
| ・ メッセージ表示一覧 | ・ 保管とお手入れ |
| ・ 故障かな?と思ったら | ・ 保証とアフターサービス |
| ・ 用語集 | ・ 定格 |
| | ・ 無料修理規定 |



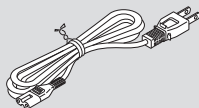
付属品について

付属品

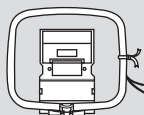
リモコン
(RC-RP0706 : 1個)



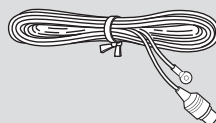
電源コード (1本)



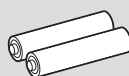
AMループアンテナ
(1個)



FM室内アンテナ
(1本)



リモコン用乾電池
(単4形 : 2本)



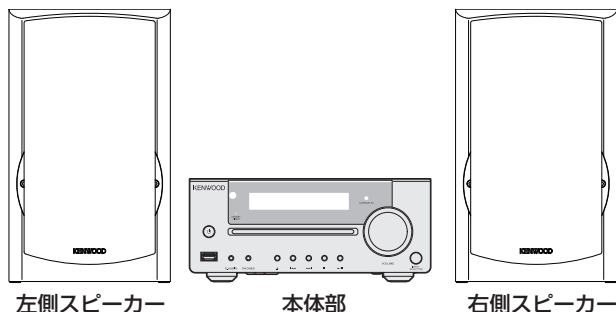
⚠ 注意

付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。

設置するときは

本機を設置するときのご注意

- 必ず平らで安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。



左側スピーカー

本体部

右側スピーカー

⚠ 注意

本機の通風孔をふさがらないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- おお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがらない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
上面：50cm以上 側面：10cm以上 背面：10cm以上

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

音響効果を楽しんでいただくために

スピーカーの配置によって音は変化します。よりよい音質をお楽しみいただくために下記を参考にしてください。

- 左右のスピーカーの周囲の環境をできるだけ同じにする。左右のスピーカーを壁から離れたところに設置し、窓に厚手のカーテンなどを掛けて、できるだけ音の反響を少なくする。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 鑑賞時の耳の位置と同じ高さに設置する。

ステレオ音の
エチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

接続のしかた

基本接続

すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントへ差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

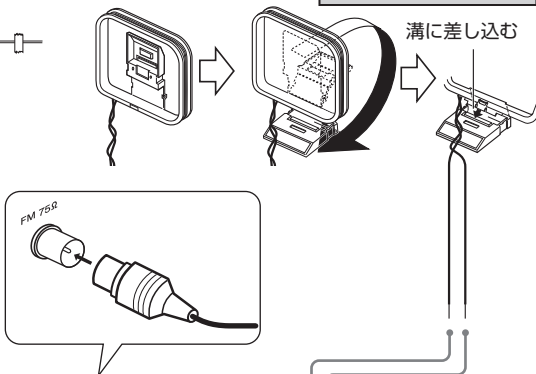
FM室内アンテナ

- ① [FM75Ω]に接続する。
- ② 受信状態のよい位置をさがす。
- ③ 固定する。

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてください。

AMループアンテナ

溝に差し込む



電源コード

- コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

交流100V、50/60Hzの電源コンセントへ

- スピーカーコードの接続は、本体とスピーカーの極性（プラス同士とマイナス同士）を合わせて接続してください。

右側スピーカー

左側スピーカー

白ライン入り

白ライン入り

「他の機器（市販品）との接続」については、P.14、P.15をご覧ください。

⚠ 屋外アンテナの設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

マイコンの誤作動について

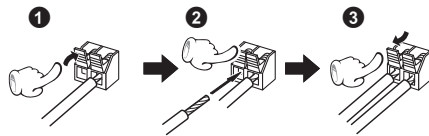
正しく接続したのに正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合はマイコンをリセットしてください。(P.77)

AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからできるだけ離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

●アンテナコードの取り付け方

AMアンテナコードを右記のようにして、**[AM]**端子に接続します。



FM室内アンテナの接続

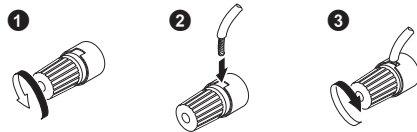
付属のアンテナは室内用の簡易アンテナです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販品）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続する場合には、簡易アンテナは取り外してください。

スピーカーの接続

スピーカーコード接続の注意

スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください（+と-のコードを接触させないでください）。極性+と-を間違えて接続すると、楽器などの音源位置がはっきりしない不自然な音になります。

●本体へのスピーカーコードの取り付け方



他の機器（市販品）との接続

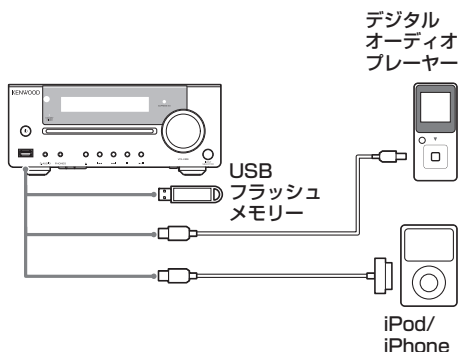


- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

USB

USBフラッシュメモリー、USBマストストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーやiPod/iPhoneを、本体前面部の **[USB]** 端子に接続します。

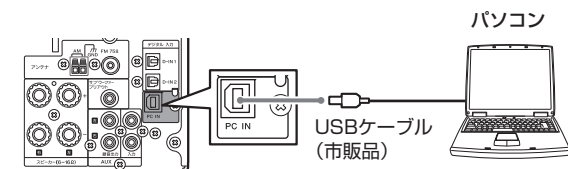
- 本機の電源が入っているときにiPod/iPhoneを取り付けるとiPod/iPhoneの充電ができます。
- iPod/iPhoneの接続可能な機種など、詳しくは34ページをご覧ください。
- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB機器によっては認識できないものや、再生ができないファイルがあります。
- USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージ (MSC) モード」を選んでください。



PC 入力

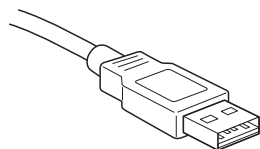
USB端子を搭載したWindows® 7/Vista/XP搭載PC（パソコン）を**[PC IN]**端子に接続します。市販のUSBケーブル（TypeA - TypeB）を使って接続します。

- 3m以下のUSBケーブルをご使用ください

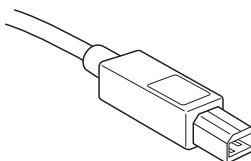


USBコネクタの種類

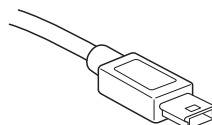
TypeA



TypeB



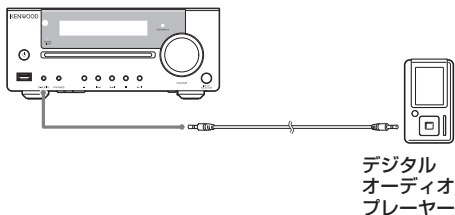
Mini-B



D.AUDIO

デジタルオーディオプレーヤーを本体前面部の[D.AUDIO]端子に接続します。

- ケンウッド・デジタルオーディオリンク対応プレーヤーを専用ケーブルPNC-150（別売）で接続すると、本機やリモコンを使って操作できます。（P.52）その他のポータブルオーディオプレーヤーは、3.5mmステレオミニプラグケーブル（市販品）を使って接続できます。
- お使いにならないときは、ミニプラグケーブルを本体から抜いてください。

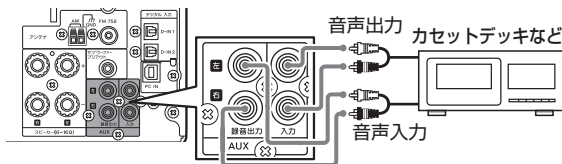


デジタルオーディオプレーヤー

AUX入力/AUX録音出力

カセットデッキなどを本体背面部の[AUX入力]端子または[AUX録音出力]端子に接続します。

- [AUX入力]端子からはアナログ音声信号を入力します。
- [AUX録音出力]端子からはアナログ音声信号が出力されます。

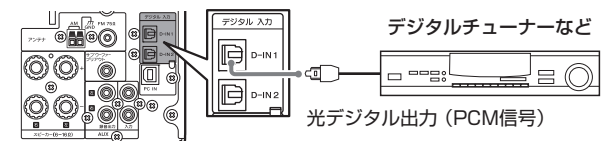


音声出力 カセットデッキなど
音声入力

デジタル入力（PCM信号）

デジタルチューナーなどの光デジタル出力端子を本体背面部の[デジタル入力]端子に接続します。

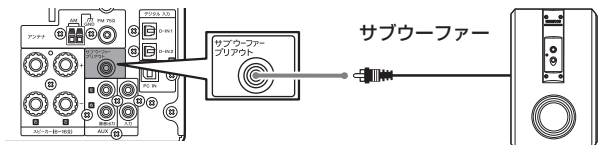
- 接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。



デジタルチューナーなど
光デジタル出力（PCM信号）

サブウーファープリアウト

アンプ内蔵サブウーファーを本体背面部の[サブウーファープリアウト]端子に接続します。

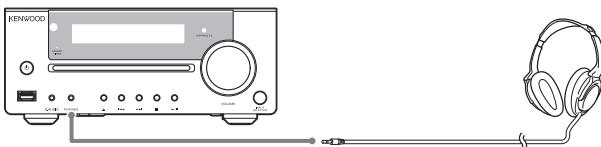


サブウーファー

PHONES

3.5mmステレオミニプラグつきのヘッドフォンを本体前面部の[PHONES]端子に接続します。

- ヘッドフォンを接続するとスピーカーからは音が出なくなります。



各部のなまえと働き

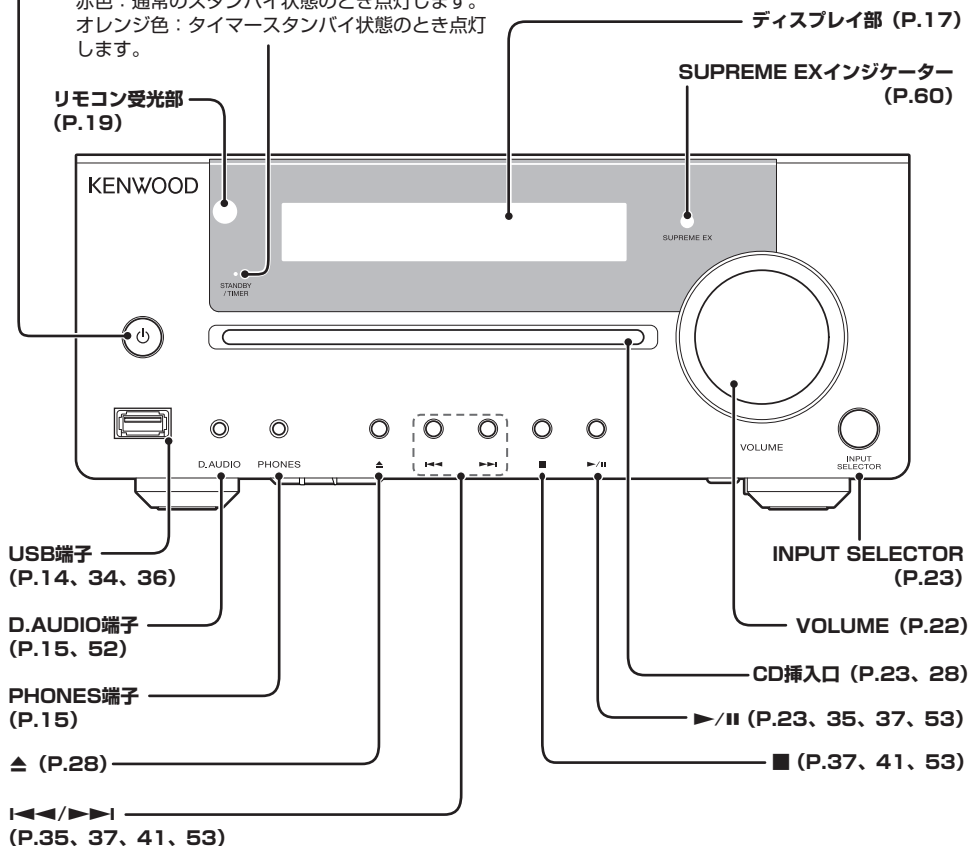
本体部

電源 (P.23)

電源のオン/オフ (スタンバイ) を切り換えます。

STANDBY/TIMERインジケータ

赤色：通常のスタンバイ状態のとき点灯します。
オレンジ色：タイマースタンバイ状態のとき点灯します。



スタンバイ状態について

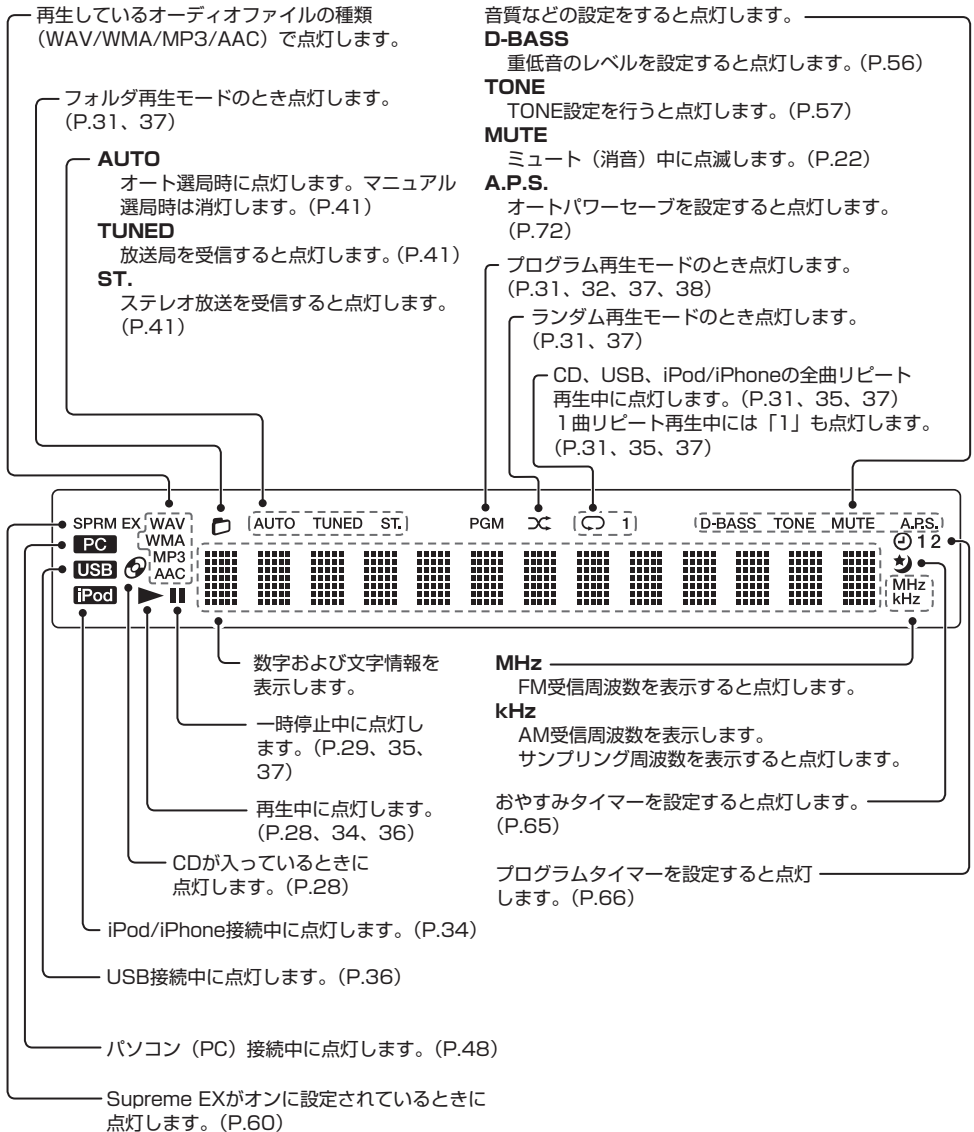
本機の[STANDBY/TIMER]インジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。またこの状態のとき、リモコンで本機の電源をオンにできます。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、リモコンの[TUNER/BAND]、[CD▶/||]、[USB▶/||]、[D.AUDIO▶/||]、[PC IN]、[D-IN1/2]または[AUX]キーを押すと本機の電源がオンになります。

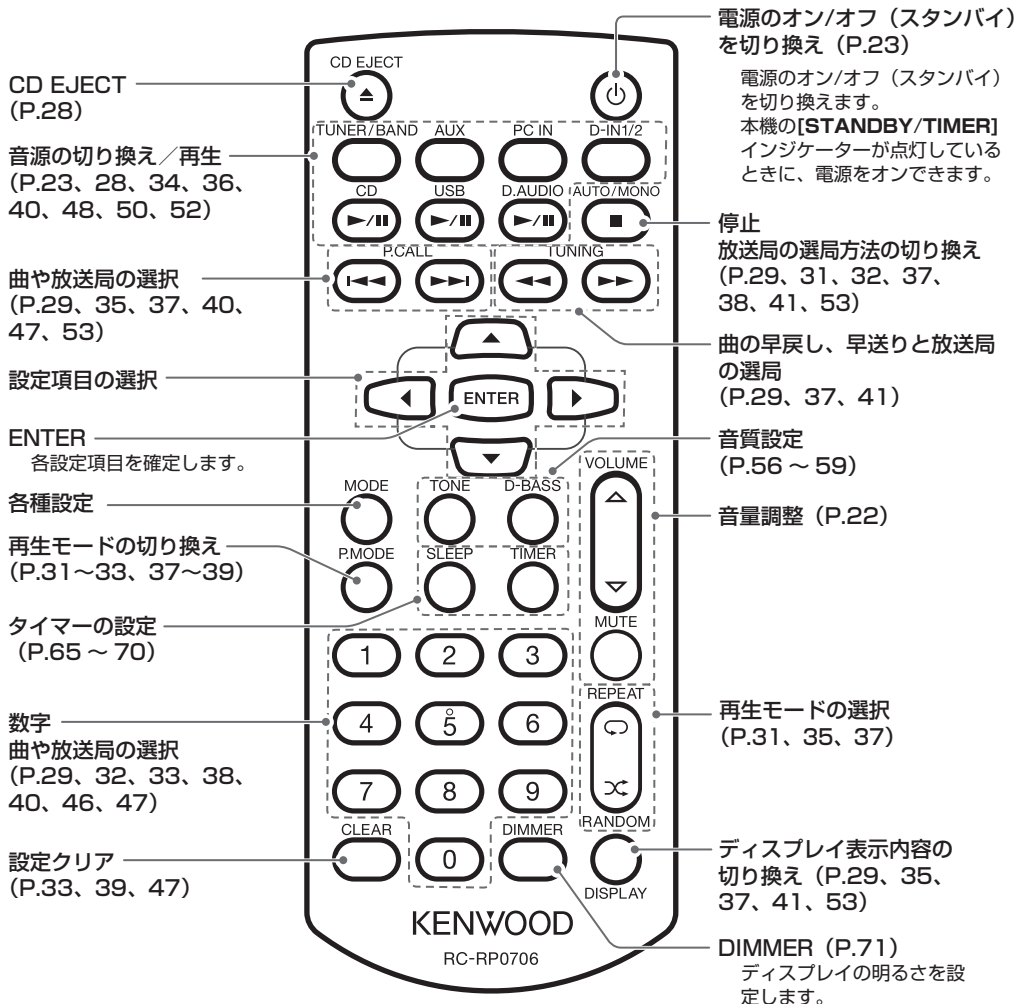
ディスプレイ部

本文中のディスプレイ表示は、
実際の表示と異なる場合があります。



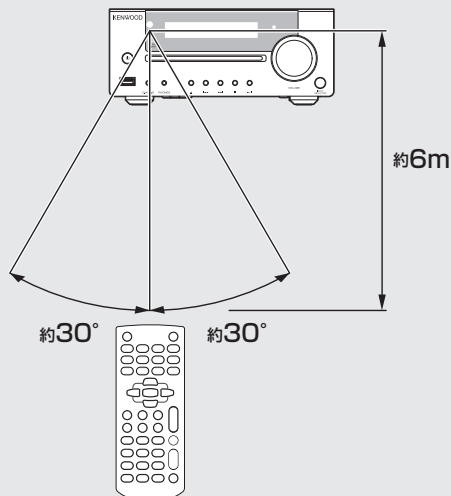
リモコン部

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。



操作のしかた

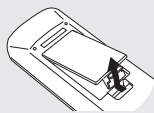
本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源[⏻]キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。



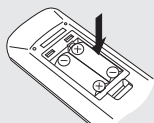
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

リモコンの電池の入れ方

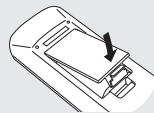
- ① 電池カバーを外します。



- ② 付属の単4形乾電池を入れます。



- ③ 電池カバーを閉じます。



- 電池の極性（ \oplus \ominus ）に注意して入れてください。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 電池を交換するときは、2本とも新しい乾電池と交換してください。



注意

電池を直射日光（炎天下）や火のそばなど高温となる場所に置かないでください。発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。

本書の見方

操作手順です。

本機はリモコンでも本体でも操作できる機能がありますが、本書では主としてリモコンによる操作手順を表記しています。

操作で使う
リモコンのキーです。

操作中または操作後の
ディスプレイ表示です。

- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。



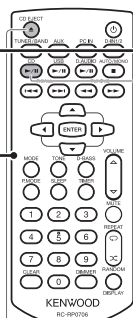
CD

CDを再生します。通常の再生のほか、フォルダ再生、ランダム再生、リピート再生、プログラム再生ができます。

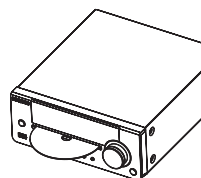
CDを再生する

CDをセットして再生します。

- あらかじめディスクが入っている場合は、[CD▶/II]キーを押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。

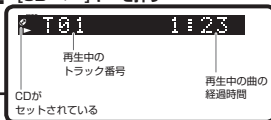


1 CDを入れる



- ラベル面を上にしてディスクを挿入します。CDを読み込んでいるあいだ、「Reading」が点滅します。ディスクがセットされると「CD」が点灯します。

2 [CD▶/II]キーを押す



再生中の
トラック番号

再生中の曲の
経過時間

CDが
セットされている








■ CDを取り出すには

再生を停止し、リモコンの[CD EJECT]キーまたは本体の[▲]キーを押します。



- 以下のようなディスクを再生すると、トラック番号が正しく表示されることがあります。
- マルチセッションで記録されたディスク

各操作のアイコンです。

-  CDの操作方法を説明します。
-  iPod/iPhone接続時の本機の操作方法を説明します。
-  USB機器接続時の本機の操作方法を説明します。
-  ラジオの操作方法を説明します。
-  PC接続時の本機の操作方法を説明します。
-  外部機器接続時の本機の操作方法を説明します。
-  デジタルオーディオプレーヤーの操作方法を説明します。
-  音質設定の操作方法を説明します。
-  機器設定の操作方法を説明します。
-  本機の保守について説明します。

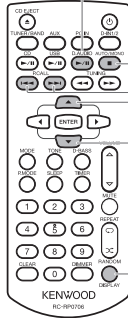
本体での
操作説明です。

リモコンでの
操作説明です。


さらに便利に使う
ための関連機能です。

関連情報
●デジタルオーディオプレーヤーの入力レベルを調整する→P.54
●音質設定→P.55～

■デジタルオーディオプレーヤー再生中の操作



<p>一時停止と再開 [D.AUDIO]▶/ キーを押す。</p>	<p>▶/ キーを押す。</p>
<p>停止する [■]キーを押す。</p>	<p>[■]キーを押す。</p>
<p>早送り / 早戻しをする [I◀◀]または[▶▶I]キーを押し続ける。</p>	<p>[I◀◀]または[▶▶I]キーを押し続ける。</p>
<p>曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る 曲を飛ばす [▶▶I]キーを押す。 前の曲へ戻る [I◀◀]キーを連続して2回以上押す。 曲の初めに戻る [I◀◀]キーを1回押す。</p>	<p>[▶▶I]キーを押す。 [I◀◀]キーを連続して2回以上押す。 [I◀◀]キーを1回押す。</p>
<p>フォルダを選択する [▲]または[▼]キーを押す。</p>	
<p>表示を切り換える [DISPLAY]キーを押すと切り換わる。 ▶[D.AUDIO]▶ 曜日/時刻</p>	

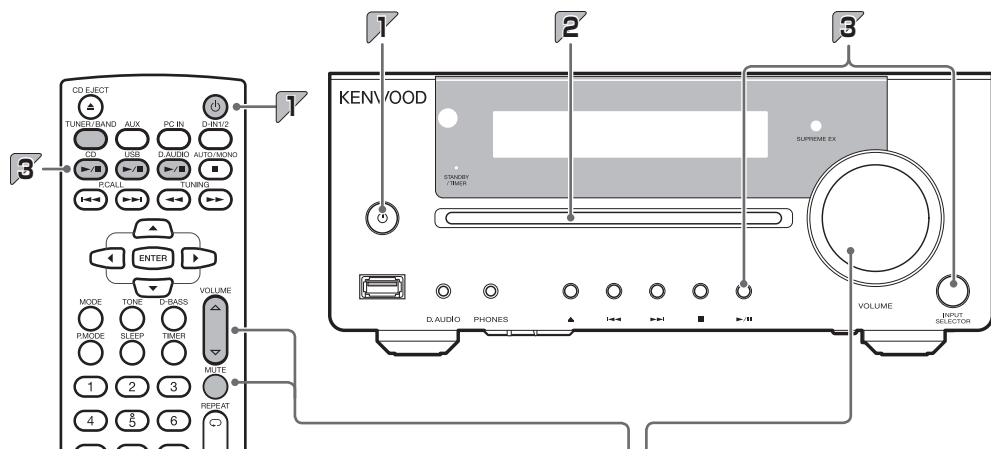
-  ●デジタルオーディオプレーヤーでトラックから選択して再生をすると、フォルダスキップができません。
- 接続した機器によっては操作できない機能があります。

基本的な使い方

ここでは本機の基本的な使い方として、ラジオ受信、CD、iPod/iPhone、PC IN、USB、D.AUDIOの再生方法について説明します。

準備

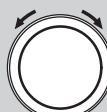
接続を確認してください。(P.12 ~ 15)
リモコンを準備してください。(P.19)



■音量を調整する



音量を
下げる



音量を
上げる

VOLUME



VOLUME

音量を上げる

音量を下げる

■一時的に消音する(ミュート)



MUTE

- ミュートを解除するにはもう一度押します。

- さまざまな音量においてクリアな音質を実現するため、電源供給回路を小音量時、大音量時それぞれの専用回路で構成しています。このため、音量「49」と「50」の間において、回路の切り替え音が発生しますが、故障ではありません。

1

電源をオンにする（オフにする）

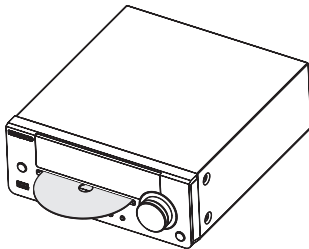


- リモコンの[TUNER/BAND]、[CD▶/||]、[USB▶/||]、[D.AUDIO▶/||]、[PC IN]、[AUX]、[D-IN1/2]キーを押しても、電源がオンになります。
- 電源がオンのときに電源[⏻]キーを押すとオフ（スタンバイ状態）になります。

2

ディスクを入れる（CDを聞くととき）

他の機器を再生するときは手順3に進んでください。



CDはラベル面を上にして入れます。

3

再生する

各音源の再生/一時停止キーを押します。詳しくは「音源別操作編」（P.27～54）をご覧ください。



INPUT
SELECTOR



TUNER/BAND



CD



USB



D.AUDIO





- [PC IN]、[D-IN1]または[D-IN2]端子に接続した機器は、各機器側で再生してください。

- お好みの音質を設定することができます。詳しくは、「音質設定編」（P.55～62）をご覧ください。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア	本書でのマーク	説明	
USB	USBフラッシュメモリ		<ul style="list-style-type: none">● [USB]端子には、USBフラッシュメモリ、USBマストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤーやiPod/iPhone以外の機器を接続しないでください。本機の故障または不測の事態により、iPodやUSB機器のデータが失われてしまったために発生した損害などの補償についてはご容赦ください。使用可能なUSBマストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤーの情報は当社ホームページをご覧ください。 http://www2.jvckenwood.com/faq/
	USBマストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー		
CD	市販の音楽CD		<ul style="list-style-type: none">● コピーコントロールCDなど、CDの規格に準拠していないディスクは再生できない場合があります。
	CD-DAのフォーマットで記録したCD-R/CD-RW		<ul style="list-style-type: none">● 書き込み時にファイナライズ処理をする必要があります。
	MP3/WMA/AACを記録したCD-R/CD-RW		<ul style="list-style-type: none">● CD-R、CD-RWディスクを記録した機器や記録状態、また使用しているCD-R、CD-RWの種類によっては本機で再生できない場合があります。
PC	USB端子を搭載したWindows 7/Vista/XP		<ul style="list-style-type: none">● [PC IN]端子には、Windows 7/Vista/XP搭載パソコンをUSBケーブル（市販品）で接続します。

メディアに書き込むときのご注意

- パケットライト方式やUDF（Universal Disc Format）方式で記録されたディスクは再生できません。
- ディスク書き込み時は、必ずセッションクローズまたはファイナライズしてください。セッションクローズまたはファイナライズしていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- 書き込みソフトの仕様によっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- マルチセッションディスクや、フォルダを多く含んでいるディスクを再生する場合、再生が始まるまで通常のディスクより時間がかかることがあります。
- 同一のディスクに、オーディオファイルと音楽CD（CD-DAフォーマット）を書き込むと正しく再生できません。
- オーディオファイルをディスクに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、ファイルが正しく再生されることを確認してください。
書き込みが終わったら、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。
- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3, wma, m4a, wav）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3, wma, m4a, wav）を付けしないでください。
拡張子については、右記の「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。
- 本書ではMP3、WMA、AAC、WAVファイルなどの音声ファイルをまとめて「オーディオファイル」と呼びます。

再生できるオーディオファイル

本機は、以下のオーディオファイル（MP3、WMA、AAC、WAV）を再生できます。

MP3ファイル（CD/USB）

拡張子：.mp3

サンプリング周波数：32/44.1/48 kHz

ビットレート：32k ~ 320 kbps

WAVファイル（USBのみ）

拡張子：.wav

サンプリング周波数：

8/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

量子化ビット数：8/16 bit

WMAファイル（CD/USB）

ファイルフォーマット：

Windows Media™ Audio 9準拠

拡張子：.wma

サンプリング周波数：32/44.1/48 kHz

ビットレート：32k ~ 320 kbps

- Windows Media™ Player 9以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
 - WMA Professional
 - WMA Lossless
 - WMA Voice

CDのファイルシステム

ISO 9660 Level 1、ISO 9660 Level 2、Joliet、Romeo

ファイル数制限

最大ファイル/フォルダ数：合計999

最大フォルダ数：255

AACファイル（CD/USB）

ファイルフォーマット：

MPEG-4 AAC (iTunes™ 4.1~10.4で作成されたもの)

拡張子：.m4a

サンプリング周波数：32/44.1/48 kHz

ビットレート：32k ~ 320 kbps

- Apple™ ロスレス・エンコーダで作成されたファイルは、再生できません。

表示できる最大文字数

ファイル名：64文字（拡張子含む）

フォルダ名：64文字

タグ表示：

ID3 TAG

Ver 1.0、1.1：30文字

Ver 2.2、2.3、2.4：64文字

- 本機が表示できる文字種は、カタカナと英数字です。表示できない文字は「*」と表示されます。
- WAVファイルのタグ表示には対応していません。

再生できるオーディオファイル (つづき)

その他の注意事項

- 前記の規格に準拠したオーディオファイルでも、ディスクの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。
 - エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
 - DRM (デジタル著作権管理) 付きファイルは、再生できません。
 - VBR (Variable Bit Rate ; 可変ビットレート) でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。
- 本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。
 - "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
 - iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
 - Microsoft, Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ディスクの取り扱い

取り扱い上のお願ひ

再生面にふれないように持ってください。

本機で使用できるディスクについて

CD、CD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

CD-ROM/CD-R/CD-RWディスクについて


レーベル面に印刷可能なCD-ROM、CD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行ってください。

- ① CDを取り出します。
- ② **[CD▶/■]**キーを押し、「No Disc」がディスプレイに表示されるのを確認します。
- ③ 数秒間待ち、電源をオフにします。
- ④ その他外部機器が接続されている場合は、電源がオフになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

CDディスクのご注意

のマークが入ったディスクをご使用ください。

このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

音源別操作編

音源別に操作方法を説明します。

本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、どちらのボタンもお使いいただけます。

音源にかかわらない音質の設定や機器の設定については、「音質設定編」(P.55)「機器設定編」(P.63)をご覧ください。エラーが表示されたり、困ったことが起きた場合には、「保守編」(P.73)をご覧ください。

CD

- ・ CDを再生する 28
- ・ フォルダ再生モードにする 31
- ・ CDをランダム再生する 31
- ・ CDをリピート再生する 31
- ・ CDをプログラム再生する 32

iPod/iPhone

- ・ iPod/iPhoneを再生する 34

USB

- ・ USB機器を再生する 36
- ・ USB機器のオーディオファイルをプログラム再生する 38

FM/AMラジオ

- ・ FM/AMラジオを聞く 40
- ・ 放送局を自動でメモリーさせる (エリアバンド) 42
- ・ 放送局を手動でメモリーさせる (マニュアルプリセット) 46
- ・ メモリーさせた放送局を消す 47

パソコン(PC)

- ・ パソコンを接続してコンテンツを開く 48
- ・ パソコンで音量を設定する 49

外部機器

- ・ 外部機器を再生する 50
- ・ 外部機器の入力レベルを調整する 51

D.AUDIO

- ・ デジタルオーディオプレーヤーを再生する 52
- ・ デジタルオーディオプレーヤーの入力レベルを調整する 54





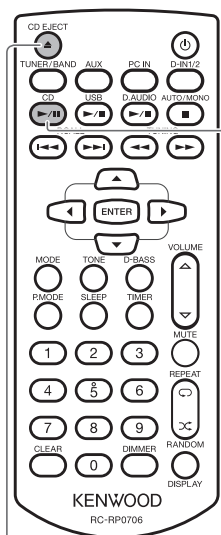
CD

CDを再生します。通常の再生のほか、フォルダ再生、ランダム再生、リピート再生、プログラム再生ができます。

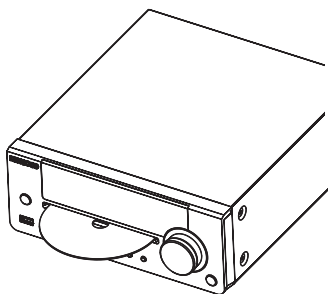
CDを再生する

CDをセットして再生します。

- あらかじめディスクが入っている場合は、[CD▶/||]キーを押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。



1 CDを入れる



- ラベル面を上にしてディスクを挿入します。CDを読み込んでいるあいだ、「Reading」が点滅します。ディスクがセットされると「CD」が点灯します。

2 [CD▶/||]キーを押す



- 再生中のトラック番号
- 再生中の曲の経過時間
- CDがセットされている

■CDを取り出すには

再生を停止し、リモコンの[CD EJECT]キーまたは本体の[▲]キーを押します。



- 以下のようなディスクを再生すると、トラック番号が正しく表示されないことがあります。
 - マルチセッションで記録されたディスク



■CD再生中の操作

一時停止と再開
[CD▶/II]キーを押す。

停止する
[■]キーを押す。(レジューム機能に関しては下記を参照してください。)

早送り / 早戻しをする
[◀◀]または[▶▶]キーを押し続ける。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る
次の曲に飛ばす：[▶▶I]キーを押す。
前の曲へ戻る：[I◀◀]キーを連続して2回以上押す。
曲の初めに戻る：[I◀◀]キーを1回押す。

フォルダを切り換える
MP3/WMA/AACで記録したCD-R/CD-RWのとき
[▲]または[▼]キーを押す。

曲番号を指定する
3曲目のときは、[3]キーを押して、[ENTER]キーを押す。
17曲目のときは、[1]キー、[7]キーを押して、[ENTER]キーを押す。
123曲目のときは、[1]キー、[2]キー、[3]キーを押す。

表示を切り換える
[DISPLAY]キーを押す。押すたびに次のように切り換わる。

市販の音楽CD・CD-DAフォーマットで記録したCD-R/CD-RWのとき
プログラム再生/トラック再生/全曲リピート再生のとき

→ トラック番号 経過時間 ▶ トラック番号 残り時間
← 曜日/時刻 ◀ トータルの残り時間 ◀ トータルの経過時間 →

ランダム再生/1曲リピート再生のとき

→ トラック番号 経過時間 ▶ トラック番号 残り時間 ▶ 曜日/時刻

MP3/WMA/AACで記録したCD-R/CD-RWのとき

→ トラック番号 経過時間 ▶ ファイル名 ▶ フォルダ名
← 曜日/時刻 ◀ タグ ◀ アルバム名 ◀ アーティスト名 ◀ タイトル →



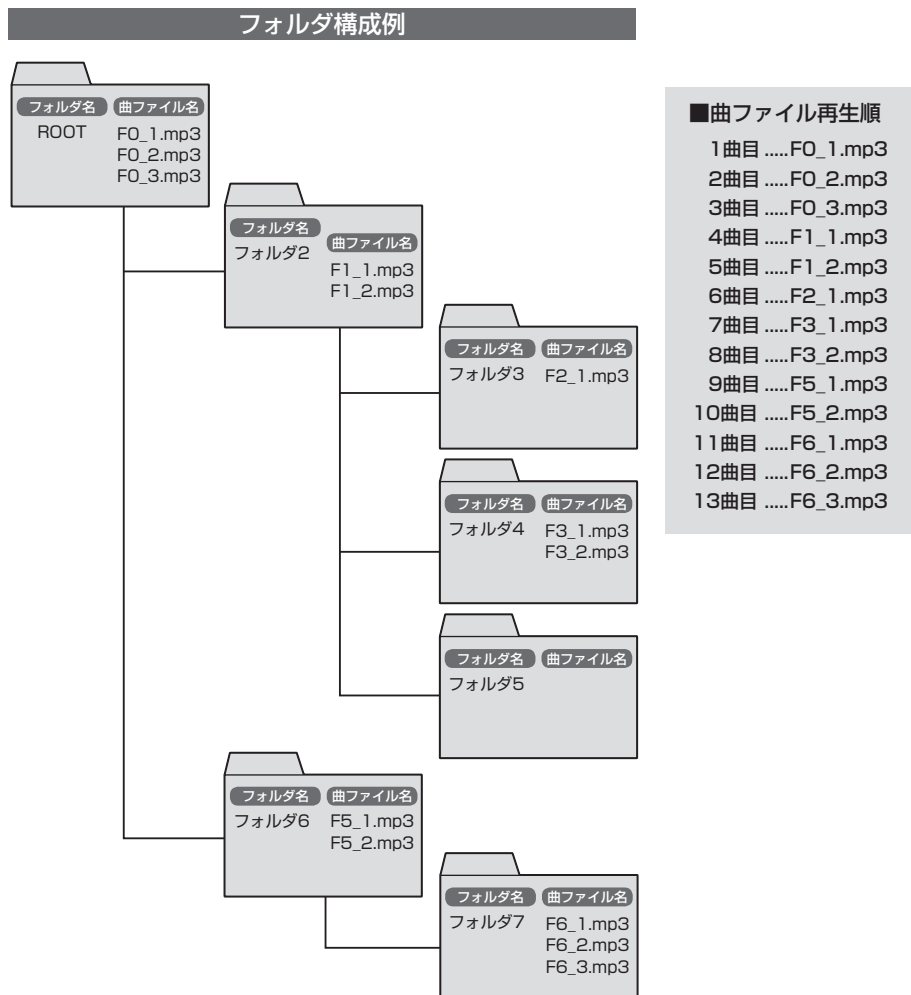
MP3/WMA/AAC

- [■]キーで再生を停止したときは、そのとき再生していた曲が記憶されており、[CD▶/II]キーを押すとその曲の最初から再生が始まります。(レジューム機能)
- 再生中に他の音源に切り換えると、レジューム機能は解除されます。

■フォルダや曲ファイルの再生順について

MP3/WMA/AAC

オーディオファイルが記録されたディスクを再生すると、ディスク内の曲ファイルは図のように、ROOT フォルダのファイルから順に再生されます。



- ファイルのないフォルダが記録されている場合は、そのフォルダは選択できません。
- オーディオファイルは、CDに記録した順番に再生されます。フォルダ名、ファイル名の頭に“01”から“99”などの番号を付けてからディスクに記録すると、再生する順番を設定することができます。(ファイルが入っていないフォルダ、ルートも1つのフォルダとしてカウントされます。)

- 再生できるオーディオファイル→P.25、26
- 音質設定→P.55～

フォルダ再生モードにする

MP3/WMA/AAC

選択したフォルダ内のファイルだけを再生します。

- 再生中の場合は、[■]キーを押して再生を停止します。

- 1 [P.MODE]キーを押してフォルダ再生モードを選ぶ
押すたびに次のように切り換わります。



フォルダ
再生モード



プログラム
再生モード



プログラム
再生モード解除

- 2 [▲]または[▼]キーを押して再生したいフォルダを
選ぶ

CDをランダム再生する

CD内、またはフォルダ内の曲を順不同で再生します。

- 再生中の場合は、[■]キーを押して再生を停止します。フォルダのある場合は、再生したいフォルダを選んで再生した状態で次に進んでください。

- 1 [RANDOM]キーを押す
押すたびに次のように切り換わります。



ランダム再生モード



ランダム再生を解除

- [◀◀]キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

CDをリピート再生する

CDの曲を繰り返し再生します。

- 1 [CD▶/||]キーを押して繰り返したい曲を再生する

- 2 [REPEAT]キーを押してリピート再生する
押すたびに次のように切り換わります。



1曲リピート再生

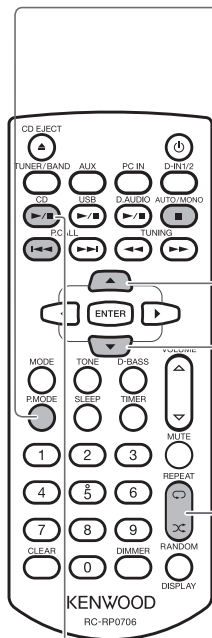


全曲リピート再生



リピート再生を解除

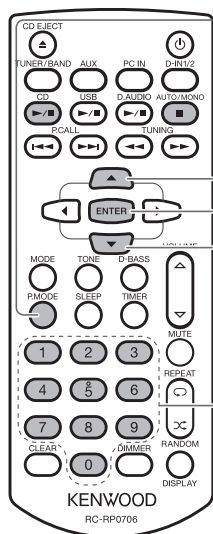
- プログラム再生中に[REPEAT]キーを押すと「[◀]」と「[PGM]」が点灯し、プログラムした全曲を繰り返し再生します。
- ランダム再生中に[REPEAT]キーを押して全曲リピート再生すると「[◀]」と「[☒]」が点灯し、ランダム再生がひと通り終わってから、新たに違う順番でランダム再生が始まります。



CDをプログラム再生する

CDをお好きな順番で聞くことができます(最大30曲)。

- [CD▶/⏮]キーを押して、音源をCDに切り換えます。
切り換えると再生が始まるので、[■]キーを押して再生を停止します。
- 再生中の場合は、[■]キーを押して再生を停止します。



1 CD

[P.MODE]キーを押してプログラム再生モードを選ぶ
押すたびに次のように切り換わります。

PGM 点灯

プログラム
再生モード

PGM 消灯

プログラム
再生モード解除

MP3/WMA/AAC

① [P.MODE]キーを押してプログラム再生モードを選ぶ
押すたびに切り換わります。

点灯

フォルダ
再生モード

PGM 点灯

プログラム
再生モード

PGM 消灯

プログラム
再生モード解除

② [▲]または[▼]キーを押してプログラム再生したい
フォルダを選ぶ

■数字キーでもフォルダを選ぶことができます。

フォルダ番号3のときは、[3]キーを押して、[ENTER]キーを押す。
17のときは[1]キー、[7]キーを押して、[ENTER]キーを押す。
123のときは[1]キー、[2]キー、[3]キーを押す。



2 [▲]または[▼]キーを押して聞きたい曲またはファイルを選ぶ

CD
P01←T10

トラック番号10をプログラムの1曲目に選んだとき

MP3/WMA/AAC
P01←F005 T058

フォルダ番号5、ファイル番号58を選んだとき

- 数字キーでもファイルを選ぶことができます。
- 入力を間違えた場合は、手順3へ進む前に[**CLEAR**]キーを押して、もう一度入力してください。
- 曲またはファイルを選んでから20秒以内に手順3へ進んでください。

3 [ENTER]キーを押す

4 2曲以上選ぶときは手順2から3 (**CD**) または手順1-②から3 (**MP3/WMA/AAC**) を繰り返す

- 30曲まで選ぶことができます。さらに選ぼうとすると「Program Full」と表示されます。

5 [CD▶/II]キーを押して再生する

■プログラムモードを解除するには

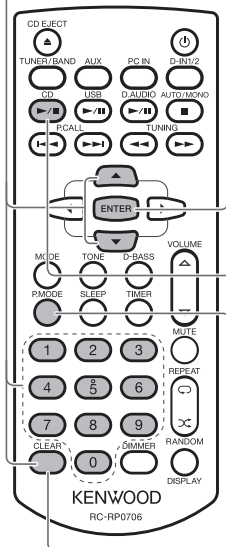
再生を停止し、[**P.MODE**]キーを押して「PGM」表示を消灯させます。

■プログラムした曲を取り消すには

再生を停止し、その後[**CLEAR**]キーを押します。押すたびに、プログラムした最後の曲から1曲ずつ消去されます。

■曲を後から追加するには

再生している場合は停止してから、手順2から3 (**CD**) または手順1-②から3 (**MP3/WMA/AAC**) の操作をします。



- 電源をオフにしたり、他の音源に切り換えたり、プログラム再生を設定したCDを取り出すと、設定したプログラム内容は消去されます。



iPod/iPhone

iPod/iPhone を接続して再生することができます。

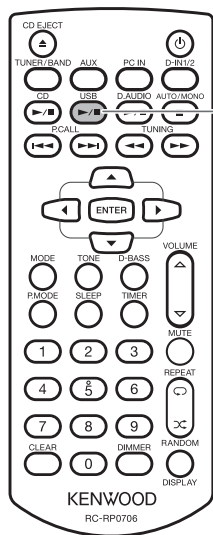
iPod/iPhoneを再生する

iPod/iPhone を本機に接続して再生します。

- iPod/iPhoneの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- iPod/iPhoneのソフトウェアは、最新のバージョンにアップデートしてください。

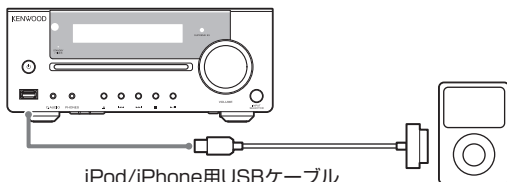
接続可能なiPod/iPhone (2013年8月現在)

- | | |
|-------------------|------------------|
| ● iPod 5 | ● iPod touch |
| ● iPhone 4S | ● iPod nano 第7世代 |
| ● iPhone 4 | ● iPod nano 第6世代 |
| ● iPhone 3GS | ● iPod nano 第5世代 |
| ● iPhone 3G | ● iPod nano 第4世代 |
| ● iPod touch 第5世代 | ● iPod nano 第3世代 |
| ● iPod touch 第4世代 | ● iPod nano 第2世代 |
| ● iPod touch 第3世代 | ● iPod classic |
| ● iPod touch 第2世代 | |



1 本体前面部の[USB]端子にiPod/iPhoneを接続する

- 本機の電源が入っているときにiPod/iPhoneを取り付けるとiPod/iPhoneの充電をすることができます。
- 「USB」以外の音源を選んでいる時にiPod/iPhoneを接続すると、ディスプレイの「USB」が点灯します。音源を「USB」に切り換え、iPod/iPhoneを再生すると、ディスプレイの「iPod」が点灯します。



iPod/iPhone用USBケーブル
(iPod/iPhoneに付属または市販品)

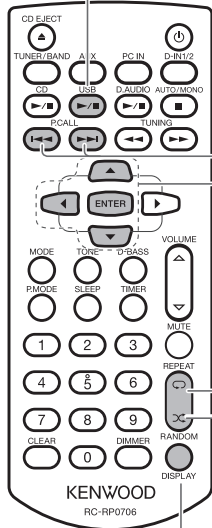
2 [USB▶/II]キーを押して再生する

- [USB▶/II]キーを押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。

- 再生できるオーディオファイル→P.25、26
- 音質設定→P.55～

■ iPod/iPhone再生中の操作

iPod/iPhone 本体でも操作できます。



一時停止と再開

[USB▶/||]キーを押す。

[▶/||]キーを押す。

早送り / 早戻しをする

[|◀◀]または[▶▶]キーを押し続ける。

[|◀◀]または[▶▶]キーを押し続ける。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

曲を飛ばす

[▶▶]キーを押す。

[▶▶]キーを押す。

前の曲へ戻る

[|◀◀]キーを連続して2回以上押す。

[|◀◀]キーを連続して2回以上押す。

曲の初めに戻る

[|◀◀]キーを1回押す。

[|◀◀]キーを1回押す。



iPodのメニューを選択する

[◀]キーを押してメニューを呼び出す。
[▲]または[▼]キーを押して選択する。
[ENTER]キーを押して決定する。

リピートの設定をする

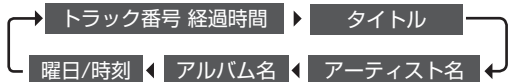
[REPEAT]キーを押す。
押すたびに、リピートの設定が変わる。

ランダムの設定をする

[RANDOM]キーを押す。
押すたびに、ランダムの設定が変わる。

表示を切り換える

[DISPLAY]キーを押すと切り換わる。





USB

USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー（以下「USB 機器」といいます）を接続して、オーディオファイルを再生することができます。

USB機器を再生する

USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを USB 接続して、オーディオファイルを再生します。

- 接続するUSB機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 再生できるファイル

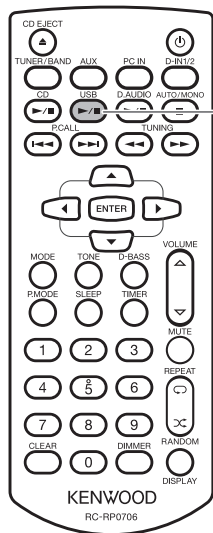
WAV

MP3

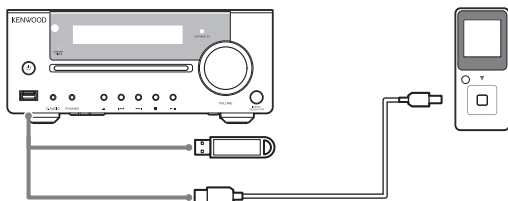
WMA

AAC

詳しくは「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。（P.25、26）



1 本体前面部の[USB]端子にUSB機器を接続する



2 [USB▶/||]キーを押して再生する

- [USB▶/||]キーを押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。
- フォルダやファイルを検索して最小ファイルナンバーから再生を開始します。複数のフォルダやファイルがある場合の再生の順番については、30ページをご覧ください。

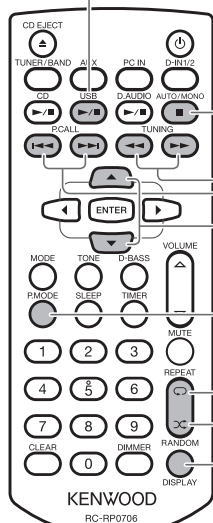
001 1:23



- 再生可能なファイルがないときは、再生は開始されません。
- デジタルHDDオーディオプレーヤーを接続した場合は、HDDシステム上、一時停止から再生開始したときに音切れが発生する場合があります。
- 再生中に他の音源に切り換えると、レジューム機能は解除されます。
- USB機器を抜き差しする場合は、停止中または電源がオフになっていることを確認してください。

- 再生できるオーディオファイル→P.25、26
- 音質設定→P.55～

■USB機器再生中の操作



一時停止と再開

[USB▶/||]キーを押す。 [▶/||]キーを押す。

停止する

[■]キーを押す。 [■]キーを押す。

早送り / 早戻しをする

[◀◀]または[▶▶]キーを押す。 [◀◀]または[▶▶]キーを押す。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

曲を飛ばす

[▶▶]キーを押す。 [▶▶]キーを押す。

前の曲へ戻る

[◀◀]キーを連続して2回以上押す。 [◀◀]キーを連続して2回以上押す。

曲の初めに戻る

[◀◀]キーを1回押す。 [◀◀]キーを1回押す。



フォルダを切り換える

[▲]または[▼]キーを押す。

フォルダ再生モード / プログラム再生モードにする

[P.MODE]キーを押すたびに切り換わる。

◀ 点灯 ▶ PGM 点灯 ▶ PGM 消灯
フォルダ再生モード プログラム再生モード プログラム再生モード解除

リピート再生する

[REPEAT]キーを押すたびに切り換わる。

◀ 1点灯 ▶ 点灯 ▶ 消灯
1曲リピート再生 全曲/フォルダリピート再生 リピート再生を解除

ランダム再生する

[RANDOM]キーを押すたびに切り換わる。

◀ 点灯 ▶ 消灯
ランダム再生モード ランダム再生を解除

表示を切り換える

[DISPLAY]キーを押すたびに切り換わる。

▶ トラック番号 経過時間 ▶ ファイル名 ▶ フォルダ名
タグ
曜日/時刻 ◀ アルバム名 ◀ アーティスト名 ◀ タイトル

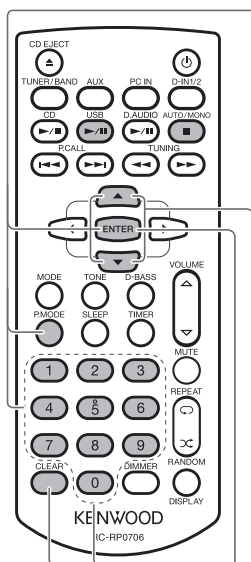
※WAVファイルのタグ表示には対応していません。



USB機器のオーディオファイルをプログラム再生する

USB機器のオーディオファイルをお好きな順番で聞くことができます(最大30曲)。

- **[USB▶/II]**キーを押して、音源をUSBに切り換えます。切り換えると再生が始まるので、**[■]**キーを押して再生を停止します。
- 再生中の場合は、**[■]**キーを押して再生を停止します。



- 1 **[P.MODE]**キーを押してプログラム再生モードを選ぶ
押すたびに切り換わります。



- 2 **[▲]**または**[▼]**キーを押してプログラム再生したいフォルダを選ぶ

■数字キーでもフォルダを選ぶことができます。

フォルダ番号3のときは、**[3]**キーを押して、**[ENTER]**キーを押す。
17のときは**[1]**キー、**[7]**キーを押して、**[ENTER]**キーを押す。
123のときは**[1]**キー、**[2]**キー、**[3]**キーを押す。

- 2 **[▲]**または**[▼]**キーを押して聞きたい曲またはファイルを選ぶ

P01+F005 T058

フォルダ番号5、ファイル番号58を選んだとき

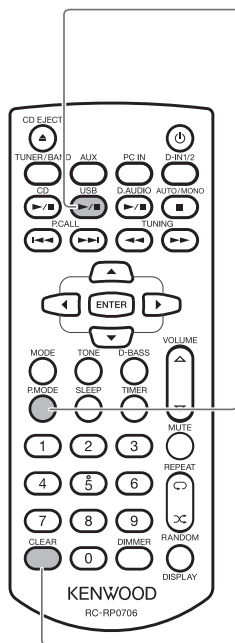
- 数字キーでもファイルを選ぶことができます。
- 入力を間違えた場合は、手順3へ進む前に**[CLEAR]**キーを押して、もう一度入力してください。
- 曲またはファイルを選んでから20秒以内に手順3へ進んでください。

- 3 **[ENTER]**キーを押す

4 2曲以上選ぶときは手順1 - ②から3を繰り返す

- 30曲まで選ぶことができます。さらに選ぶとすると「Program Full」と表示されます。

5 [USB▶/||]キーを押して再生する



■プログラムモードを解除するには

再生を停止し、[P.MODE]キーを押して「PGM」表示を消灯させます。

■プログラムした曲を取り消すには

再生を停止し、その後[CLEAR]キーを押します。押すたびに、プログラムした最後の曲から1曲ずつ消去されます。

■曲を後から追加するには

再生している場合は停止してから、手順1 - ②から3の操作をします。



- 電源をオフにしたり、他の音源に切り換えたり、プログラム再生を設定したUSBを取り外すと、設定したプログラム内容は消去されます。



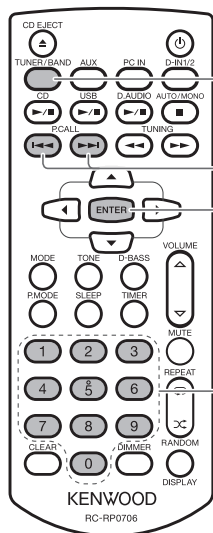


FM/AMラジオ

FM/AM ラジオを聞いたり、放送局をメモリーすることができます。

FM/AMラジオを聞く

- [TUNER/BAND]キーを押すだけで電源がオンになり、ラジオを聞くことができます。



1 [TUNER/BAND]キーを押してFMまたはAMを選ぶ
 押すたびに、「FM」と「AM」が切り換わります。

2 放送局を選ぶ

メモリーされている放送局から選ぶ場合(プリセットコール)

メモリーさせてある放送局を選びます。

- プリセットについてはP.42、P.46参照。

■ [P.CALL]キーで選ぶ場合

[◀◀]または[▶▶]キーを押すたびに、メモリーされている放送局が順に切り換わります。

[◀◀]または[▶▶]キーを押し続けると、約0.5秒間隔でメモリーされている放送局が順に切り換わります。

■ 数字キーで選ぶ場合

P03のときは、[0]キー、[3]キーを押す。
P17のときは、[1]キー、[7]キーを押す。

▶ [ENTER]キーを押す

関連
情報

- 放送局を自動でメモリーさせる（エアバンド）→P.42
- 放送局を手動でメモリーさせる（マニュアルプリセット）→P.46
- 音質設定→P.55～

メモリーされていない放送局を選ぶ場合（オート選局/マニュアル選局）

① [AUTO/MONO]キーを押してオート選局かマニュアル選局かを選びます。

押すたびに次のように切り換わります。

AUTO 点灯

オート選局
（電波状態の良いときに
選びます。）

AUTO 消灯

マニュアル選局
（電波状態の悪いときに
選びます。）

② [TUNING ◀◀/▶▶]キーを押して放送局を選びます。

本体で操作するときは、[■]キーを押し、[I◀◀]キーまたは[▶▶I]キーを押します。

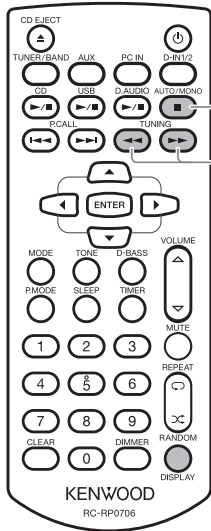
受信すると「TUNED」が点灯します。ステレオ受信すると「ST.」が点灯します。

■ オート選局の場合

キーを押すたびに次の放送局を自動で受信します。お好みの放送局を受信するまで操作を繰り返してください。

■ マニュアル選局の場合

受信するまで、または受信したい周波数になるまでキーを押してください。

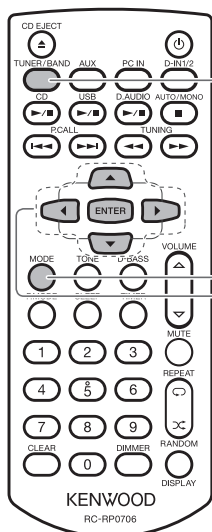


- オート選局/マニュアル選局中は音が出ません。
- オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。
- [DISPLAY]キーを押すたびに次のように切り換わります。
放送局名が記憶されているとき：
放送局名→プリセット番号→曜日/時計
放送局名が記憶されていないとき：
プリセット番号→曜日/時計

放送局を自動でメモリーさせる（エリアバンド）

エリアを指定することで、指定したエリアの放送局をプリセットチャンネルにメモリーして、放送局名を表示することができます。

- ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局が正しく表示されない場合があります。
- 放送局はFM、AM合わせて最大40局までメモリーできます。



1 [TUNER/BAND]キーを押す

2 [MODE]キーを押す

3 「エリアバンド」を選ぶ

[◀]または[▶]キーを押す

FM 101.1

- ディスプレイに設定されたエリアが表示されます。

▼
[ENTER]キーを押す

4 エリア（お住まいの地域）を選ぶ

[▲]または[▼]キーを押す

FM 101.1 北海道

▼
[ENTER]キーを押す

例) 北海道を選んだ場合

- ディスプレイに「Complete」が点灯して放送局がメモリーされます。メモリー後はプリセット番号P01を受信した状態になります。
- お住まいのエリアが変わった場合はもう一度記憶させてください。



- プリセットしても電波状態が悪い場合は、受信できません。
- 放送局名自動表示リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットでメモリーさせてください。(P.46参照)

●FM/AMラジオを聞く→P.40

●放送局を手動でメモリーさせる(マニュアルプリセット)→P.46

【放送局リスト】 ●放送局名は変更されることがあります。

北海道(ホッカイドウ)

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	80.4 MHz	AIR-G'	エフエム北海道
2		82.5 MHz	NORTH WAVE	エフエム・ノースウェーブ
3		85.2 MHz	NHK-FM	NHK
4	AM	567 kHz	NHK-AM1	NHK
5		747 kHz	NHK-AM2	NHK
6		1287 kHz	HBCラジオ	北海道放送
7		1440 kHz	STVラジオ	STVラジオ

東北(トウホク)

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	FM IWATE	エフエム岩手
2		77.1 MHz	Date fm	エフエム仙台
3		80.0 MHz	FMアオイ	エフエム青森
4		80.4 MHz	リズム・ステーション	エフエム山形
5		81.8 MHz	フジFM	エフエム福島
6		82.5 MHz	NHK-FM	NHK
7		82.8 MHz	FMアキタ	エフエム秋田
8	AM	684 kHz	イワテラジオ	IBC岩手放送
9		891 kHz	NHK-AM1	NHK
10		918 kHz	ヤマタラジオ	山形放送
11		936 kHz	アキタラジオ	秋田放送
12		1089 kHz	NHK-AM2	NHK
13		1233 kHz	アオイラジオ	青森放送
14		1260 kHz	トウホクラジオ	東北放送
15		1458 kHz	ラジオ福島	ラジオ福島

関東(カントウ)

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	InterFM	エフエムインターウェーブ
2		76.4 MHz	RADIO BERRY	エフエム栃木
3		78.0 MHz	bayfm	ベイエフエム
4		78.8 MHz	ラジオ大学	放送大学
5		79.5 MHz	NACK5	エフエムナックファイブ
6		80.0 MHz	TOKYO FM	エフエム東京
7		81.3 MHz	J-WAVE	J-WAVE
8		82.5 MHz	NHK-FM	NHK
9		84.7 MHz	Fm Yokohama	横浜エフエム放送
10		86.3 MHz	FM GUNMA	エフエム群馬
11	AM	594 kHz	NHK-AM1	NHK
12		693 kHz	NHK-AM2	NHK
13		954 kHz	TBSラジオ	TBSラジオ&コミュニケーションズ
14		1134 kHz	文化ラジオ	文化放送
15		1197 kHz	イブラジオ	茨城放送
16		1242 kHz	ニッポンラジオ	ニッポン放送
17		1422 kHz	オール・エフ・ラジオ日本	オール・エフ・ラジオ日本
18		1530 kHz	栃木ラジオ	栃木放送



中部 (チュウブ)				
プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	FMFUKUI	福井エフエム放送
2		77.5 MHz	FM-NIIGATA	エフエムラジオ新潟
3		77.8 MHz	ZIP-FM	ZIP-FM
4		78.4 MHz	K-MIX	静岡エフエム放送
5		79.0 MHz	FM PORT	新潟県民エフエム放送
6		79.7 MHz	FM NAGANO	長野エフエム放送
7		80.0 MHz	Radio 80	岐阜エフエム
8		80.1 MHz	KNBラジオ	北日本放送
9		80.5 MHz	FM ISHIKAWA	エフエム石川
10		80.7 MHz	FM AICHI	エフエム愛知
11		82.5 MHz	NHK-FM	NHK
12		82.7 MHz	FMトヤマ	富山エフエム放送
13		83.0 MHz	FM-FUJI	エフエム富士
14	AM	729 kHz	NHK-AM1	NHK
15		738 kHz	KNBラジオ	北日本放送
16		765 kHz	ヤマブキラジオ	山梨放送
17		864 kHz	FBCラジオ	福井放送
18		909 kHz	NHK-AM2	NHK
19		1053 kHz	CBCラジオ	中部日本放送
20		1098 kHz	シエララジオ	信越放送
21		1107 kHz	ホリホリラジオ	北陸放送
22		1116 kHz	ニガタ放送	新潟放送
23		1332 kHz	トカイラジオ	東海ラジオ放送
24		1404 kHz	SBSラジオ	静岡放送
25		1431 kHz	ギョウラジオ	岐阜放送

近畿 (キンキ)				
プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.5 MHz	FM CO・CO・LO	関西インターメディア
2		77.0 MHz	e-radio	エフエム滋賀
3		78.9 MHz	Radio3 FMミ	三重エフエム放送
4		80.2 MHz	FM802	FM802
5		85.1 MHz	fm osaka	エフエム大阪
6		88.1 MHz	NHK-FM	NHK
7		89.4 MHz	FMキョト	エフエム京都
8		89.9 MHz	Kiss-FM	兵庫エフエム放送
9	AM	558 kHz	ラジオ関西	ラジオ関西
10		666 kHz	NHK-AM1	NHK
11		828 kHz	NHK-AM2	NHK
12		1008 kHz	ABCラジオ	朝日放送
13		1143 kHz	KBS キョト	京都放送
14		1179 kHz	マイニチラジオ	毎日放送
15		1314 kHz	ラジオ材木	大阪放送
16		1431 kHz	ワカヤマラジオ	和歌山放送

●FM/AMラジオを聞く→P.40

●放送局を手動でメモリーさせる(マニュアルプリセット)→P.46

中国/四国(チュウゴク・シコク)

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.8 MHz	FMかか	岡山エフエム放送
2		77.4 MHz	fm-sanin	エフエム山陰
3		78.2 MHz	ヒツメFM	広島エフエム放送
4		78.6 MHz	FMかか	エフエム香川
5		79.2 MHz	FMやまぐち	エフエム山口
6		79.7 MHz	FMIヒメ	エフエム愛媛
7		80.7 MHz	FMTくろ	エフエム徳島
8		81.6 MHz	FM KOCHI	エフエム高知
9		88.3 MHz	NHK-FM	NHK
10	AM	702 kHz	NHK-AM2	NHK
11		765 kHz	やまぐち	山口放送
12		900 kHz	かごしま	高知放送
13		900 kHz	BSSラジオ	山陰放送
14		1071 kHz	NHK-AM1	NHK
15		1116 kHz	なごや	南海放送
16		1269 kHz	しこく	四国放送
17		1350 kHz	RCCラジオ	中国放送
18		1449 kHz	にしこく	西日本放送
19		1494 kHz	RSKラジオ	山陽放送

九州/沖縄(キュウシュウ・オキナワ)

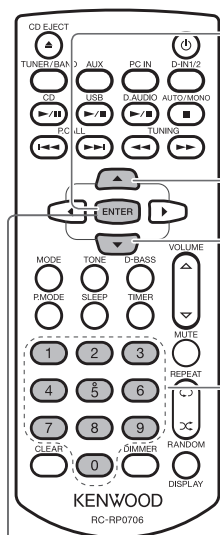
プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	Love FM	ラブエフエム国際放送
2		77.4 MHz	FMK	エフエム熊本
3		77.9 MHz	FMかか	エフエム佐賀
4		78.7 MHz	cross fm	CROSS FM
5		79.5 MHz	fmnagasaki	エフエム長崎
6		79.8 MHz	ミュ-FM	エフエム鹿児島
7		80.7 MHz	FM FUKUOKA	エフエム福岡
8		83.2 MHz	JOY FM	エフエム宮崎
9		84.8 MHz	NHK-FM	NHK
10		85.2 MHz	NHKラジオ1	NHK第一
11		87.3 MHz	FM Okinawa	エフエム沖縄
12		88.0 MHz	FM OITA	エフエム大分
13		89.1 MHz	AFNかか	AFN沖縄
14	AM	612 kHz	NHK-AM1	NHK
15		738 kHz	琉球	琉球放送
16		864 kHz	ラジオ	ラジオ沖縄
17		936 kHz	みやぎ	宮崎放送
18		1017 kHz	NHK-AM2	NHK
19		1098 kHz	大分	大分放送
20		1107 kHz	南日本	南日本放送
21		1197 kHz	熊本	熊本放送
22		1233 kHz	かか	長崎放送
23		1278 kHz	RKB毎日	RKB毎日放送株式会社
24		1413 kHz	キュウシュウ	九州朝日放送
25	1458 kHz	NBCラジオ	NBCラジオ佐賀	



放送局を手動でメモリーさせる (マニュアルプリセット)

放送局を選択して好きなプリセット番号に登録します。すでに放送局がメモリーされているプリセット番号に登録すると、新しい放送局に変更されます。

- 放送局はFM、AM合わせて最大40局までメモリーできます。



1 メモリーさせたい放送局を選び、[ENTER]キーを押す

プリセットに登録したい放送局を、オート選局またはマニュアル選局で選びます。(P.41参照)

P --- FM 80.00 MHz

プリセット番号が点滅する

2 メモリーさせたいプリセット番号 (P01 ~ P40) を選ぶ

■ [▲]または[▼]キーで選ぶ

■ 数字キーで選ぶ場合

P03のときは、[0]キー、[3]キーを押す。
P17のときは、[1]キー、[7]キーを押す。

選んだプリセット番号が点滅

P25 FM 80.00 MHz

- すでに放送局がメモリーされているプリセット番号を選ぶと、新しい設定に変更されます。

3 [ENTER]キーを押す

P25 FM 80.00 MHz

4 [▲]または[▼]キーで放送局を選び、[ENTER]キーを押す

TOKYO FM

メモリーさせた放送局を消す

プリセットに登録した放送局をプリセットから消します。

1 消したい放送局のプリセット番号を選ぶ

■[P.CALL]キーで選ぶ場合

[◀◀]または[▶▶]キーを押す

例) P25を選んだ場合

P25 FM 89.00 MHz

■数字キーで選ぶ場合

P03のときは、[0]キー、[3]キーを押す。

P17のときは、[1]キー、[7]キーを押す。

2 [CLEAR]キーを押す

P25 Clear?

●ディスプレイに「Clear?」と20秒間表示されます。

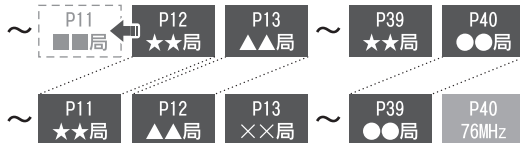
●プリセット番号P40を選んだ場合は「Can't Clear」と表示され、消去できません。

3 [ENTER]キーを押して放送局を消す

ディスプレイに「Clear?」と表示されている間に、[ENTER]キーを押します。

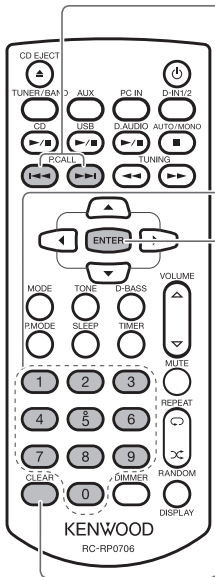
■放送局を消すとプリセット番号は？

例) P11の「■■局」を消すと



後ろのプリセット番号が前に繰り上がります。

繰り上がって空いたプリセット番号には自動的にFM76MHzが記憶されません。





パソコン (PC)

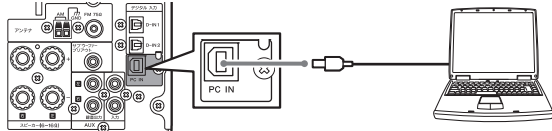
パソコン内の音楽データを本機で聞くことができます。

パソコンを接続してコンテンツを聞く

- 本機とパソコンを接続するUSBケーブル (Type A - Type B) を準備します。(P.14参照)

1 本体背面部の[PC IN]端子とパソコンのUSBポートを、USBケーブルで接続する

- 本機とパソコンを接続する場合は電源をオフしておきます。



2 パソコンの電源を入れる

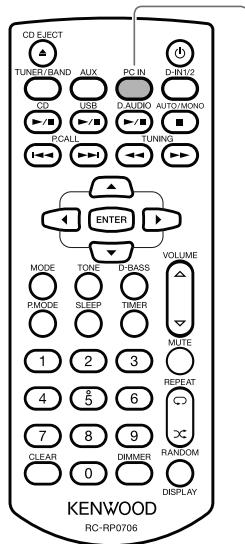
3 本体の電源を入れる

- パソコンヘッドドライバが自動的にインストールされ、本機は「USBスピーカー」として認識されます。
- パソコンが本機を接続検出中の状態では、USBケーブルを抜き差ししないでください。
- 数秒間経過しても本機が検出されない場合は、次のことを行ってください。
 - USBケーブルを接続しなおす
 - パソコンを再起動する

4 [PC IN]キーを押す

5 パソコンのソフトウェアを操作して音楽ファイルを聞く

- 音楽ファイルはパソコンで選びます。パソコンの操作については、パソコンまたはソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- 本機で音量調節ができます。
- パソコンと接続中は、「PC」が表示されます。
- 本機は32kHz/44.1kHz/48kHzのサンプリング周波数に対応しています。また、16ビットステレオ/モノラルデータを受信できます。
- 本機の[PC IN]入力端子は入力専用です。本機で再生される音にパソコンに録音することはできません。



関連
情報

- 「他の機器（市販品）との接続」→P.14、15
- 音質設定→P.55～

パソコンで音量を設定する

パソコン側の音量は最大に設定して、本機の音量つまみを調節するとより良い音質が得られます。本機の音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きく調整してください。

- 音が出ないときは、次の手順でWindowsの設定を確認してください。

1 本機の音量を小さくして、[PC IN]キーを押す

2 パソコンのWindows Media PlayerまたはiTunes等のプレーヤーを[×]ボタンで終了させる

3 パソコン側の設定を確認する
(お使いのWindowsの種類に合わせて下記「Windows側の設定」をご確認ください。)

4 パソコンのプレーヤーを起動し音楽を再生する
Windows Media PlayerまたはiTunes等を起動後、音楽を再生しプレーヤーの音量を大きくします。

5 本機の音量を徐々に大きくする

■ Windows側の設定

Windows XPの場合

- ① [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]から[サウンドとオーディオデバイス]をダブルクリックして選びます
- ② [オーディオ]タブをクリックして[規定のデバイス]に「USB Audio CODEC」*を選び、[適用]をクリックします

Windows Vistaの場合

- ① [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]から[サウンド]をダブルクリックして選びます
- ② [再生]タブをクリックして「USB Audio CODEC」*を選び、[規定値に設定 (S)]をクリックします。最後に[OK]をクリックします

Windows 7の場合

- ① [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]から[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]の順にクリックします
- ② [再生]タブをクリックして「USB Audio CODEC」*を選び、[規定値に設定 (S)]をクリックします。最後に[OK]をクリックします

Windows 8の場合

- ① デスクトップ画面を表示させます
- ② 画面の右上隅にマウスポインターを合わせて表示されたチャームから[設定]を選びます
 - タッチパネルの場合は、画面の右端からスワイプしてチャームを表示します。
[設定]チャームが表示されます。
- ③ [コントロールパネル]を選びます
[コントロール パネル]画面が表示されます。
- ④ [ハードウェアとサウンド]→[サウンド]の順にクリックします
- ⑤ [再生]タブをクリックしてスピーカー「USB Audio CODEC」*を選び、[規定値に設定 (S)]をクリックします。最後に[OK]をクリックします

* お使いのパソコンやOSによっては、「USBオーディオデバイス」と表示されることもあります。





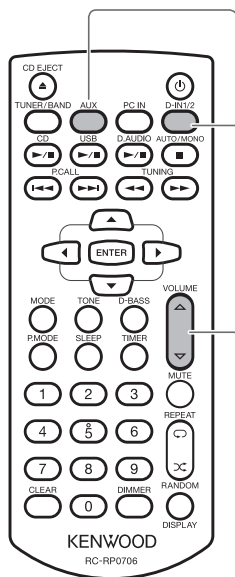
外部機器

本機に外部機器を接続して曲を再生することができます。

外部機器を再生する

「他の機器（市販品）との接続」（P.14、15）にしたがって、本機と外部機器を接続します。

- 接続するときは、本機と外部機器の電源を必ずオフにして接続してください。
- 接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



1 [デジタル入力]端子に接続した機器を再生するときは、
[D-IN1/2]キーを押す
[AUX入力]端子に接続した機器を再生するときは、
[AUX]キーを押す

D-IN1 48 kHz

- デジタル機器を選んだときは、入力信号のサンプリング周波数が表示されます。
- 本機で再生できるデジタル信号は、PCM（32、44.1、48、88.2、96kHz）です。

2 接続した外部機器を再生する

接続した外部機器を操作して再生します。

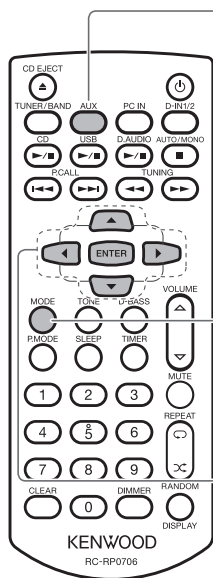
3 音量を調整する

- 「他の機器（市販品）との接続」→P.14、15
- 音質設定→P.55～

外部機器の入力レベルを調整する

[AUX入力]端子に接続した外部機器の入力レベルを調整することができます。

同じボリュームでも外部機器からの音量がほかの音源より大きく、または小さく感じた場合は調整してください。



1 [AUX]キーを押す

2 [MODE]キーを押す

3 [Input Level] を選ぶ

[◀]または[▶]キーを押す

Input Level

[ENTER]キーを押す

4 入力レベルを設定する

[▲]または[▼]キーを押す

Level 0

[ENTER]キーを押す

- -3～+5の範囲で調整できます。



- [AUX入力]端子から入力された信号は[AUX録音出力]端子から出力されません。





D.AUDIO

ケンウッド・デジタルオーディオプレーヤー（以下「デジタルオーディオプレーヤー」といいます）を接続して再生することができます。

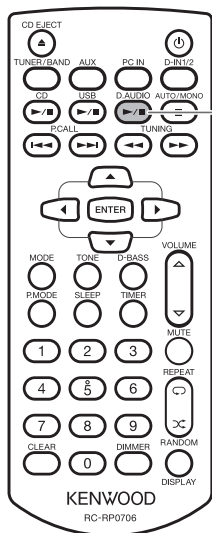
デジタルオーディオプレーヤーを再生する

デジタルオーディオプレーヤーを本機に接続して再生します。

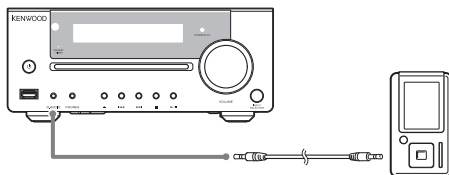
- 接続するときは、本機とデジタルオーディオプレーヤーの電源は必ずオフにして接続してください。
- 接続するデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 別売の専用ケーブルPNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでデジタルオーディオプレーヤーを操作できます。

接続可能なケンウッド・デジタルオーディオプレーヤー

HDDオーディオプレーヤー	メモリーオーディオプレーヤー／レコーダー
HD20GA7、HD30GA9、 HD30GB9、HD10GB7、 HD60GD9	M1GB5、M512B5、M1GC7、M2GC7、 M512C5、M1GD55、M1GD50、M2GD55、 M2GD50、MG-E502、MG-E504、MGR-A7、 MGR-E8、MG-G508、MG-G608、MG-G708



1 本体前面部の[D.AUDIO]端子にデジタルオーディオプレーヤーを接続する



2 デジタルオーディオプレーヤーの電源を入れる

3 [D.AUDIO▶/||]キーを押して再生する

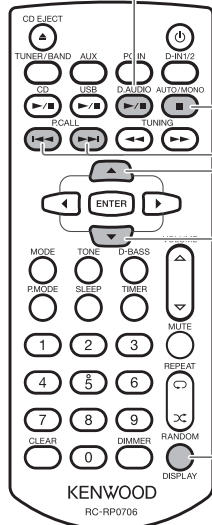
- [D.AUDIO▶/||]キーを押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。
- 専用ケーブル PNC-150以外で接続した場合は、接続したデジタルオーディオプレーヤー側で操作します。
- 再生が始まらない場合はデジタルオーディオプレーヤー側でアーティスト、アルバムなどを選択して再生を開始します。







- 専用ケーブル PNC-150で接続した場合は、デジタルオーディオプレーヤーの音量、音質設定が無効になります。
- ご使用後、デジタルオーディオプレーヤーの接続ケーブルは[D.AUDIO]端子から抜いてください。

- デジタルオーディオプレーヤーの入力レベルを調整する→P.54
- 音質設定→P.55～

■デジタルオーディオプレーヤー再生中の操作



	
一時停止と再開	
[D.AUDIO▶/]キーを押す。	[▶/]キーを押す。
停止する	
[■]キーを押す。	[■]キーを押す。
早送り / 早戻しをする	
[◀◀]または[▶▶]キーを押し続ける。	[◀◀]または[▶▶]キーを押し続ける。
曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る	
曲を飛ばす	
[▶▶]キーを押す。	[▶▶]キーを押す。
前の曲へ戻る	
[◀◀]キーを連続して2回以上押す。	[◀◀]キーを連続して2回以上押す。
曲の初めに戻る	
[◀◀]キーを1回押す。	[◀◀]キーを1回押す。
	
フォルダを選択する	
[▲]または[▼]キーを押す。	
表示を切り換える	
[DISPLAY]キーを押すと切り換わる。	
 [D.AUDIO] ▶ 曜日/時刻	

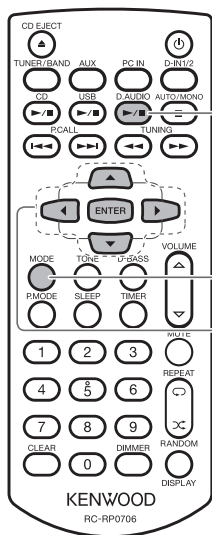


- デジタルオーディオプレーヤーでトラックから選択して再生をすると、フォルダスキップができません。
- 接続した機器によっては操作できない機能があります。

デジタルオーディオプレーヤーの入力レベルを調整する

[D.AUDIO] 端子に接続した外部機器の入力レベルを調整することができます。

同じボリュームでも外部機器からの音量がほかの音源より大きく、または小さく感じた場合には調整してください。



1 [D.AUDIO▶/||]キーを押す

2 [MODE]キーを押す

3 [Input Level] を選ぶ
[◀]または[▶]キーを押す

Input Level

[ENTER]キーを押す

4 入力レベルを設定する
[▲]または[▼]キーを押す

Level --3

● -3~+5の範囲で調整できます。

[ENTER]キーを押す



● D.AUDIOの入力レベルを調整すると、[AUX録音出力]端子からの出力レベルも変化します。

音質設定編

ステレオシステムならではの音質設定をお楽しみください。
本機に搭載された音質設定機能を使うと、お好みの音をお楽しみいただけます。

デジタルシグナルプロセッサー

- ・ 重低音を調整する (D-BASS) 56
- ・ 音域レベルを調整する (TONE) 57

Supreme EX

- ・ Supreme EXを設定する 60

Balance

- ・ スピーカーの音量バランスを調整する 61

Rec Out Level

- ・ 録音出力レベルを調整する 62



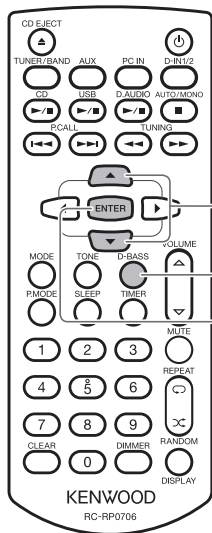
デジタルシグナルプロセッサー

本機は DSP (デジタルシグナルプロセッサー) によって、重低音効果や音域 (低音部、中音部、高音部) ごとのレベルを調整できます。

詳細な設定ができるため、より自分の好みに音を調整することができます。

重低音を調整する (D-BASS)

お好みに合わせて、重低音効果を変えてお楽しみいただけます。



1 [D-BASS]キーを押す

2 [▲]または[▼]キーを押してレベルを調整する

D-BASS 4

- ディスプレイの「D-BASS」が点滅している間に、レベルを0(Off)から10の範囲で調整できます。数字が大きいほどより重低音が強調されます。

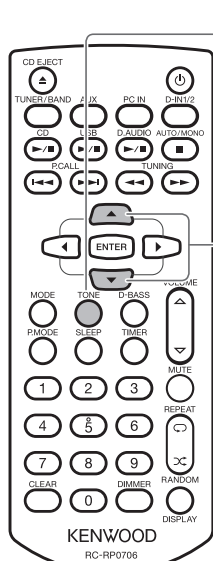
- 設定中は「D-BASS」が点滅します。

3 [ENTER]キーを押す

- レベル1以上に設定されると「D-BASS」が点灯します。

音域レベルを調整する (TONE)

お好みに合わせて、低音部、中音部、高音部を調整することができます (TONE)。



1 [TONE]キーを押して、音域 (Bass : 低音部、Mid : 中音部、Treble : 高音部) から[Bass]を選ぶ

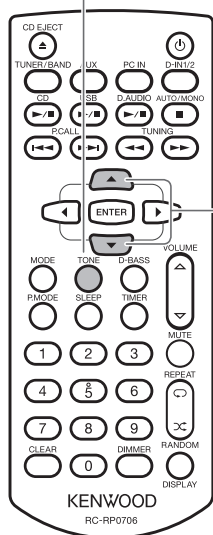
2 [▲]または[▼]キーを押して低音部 (Bass) のレベルを調整する

Bass +3

- 設定中は「TONE」が点滅します。「TONE」が点滅している間に、レベルを-8から+8の範囲で調整できます。



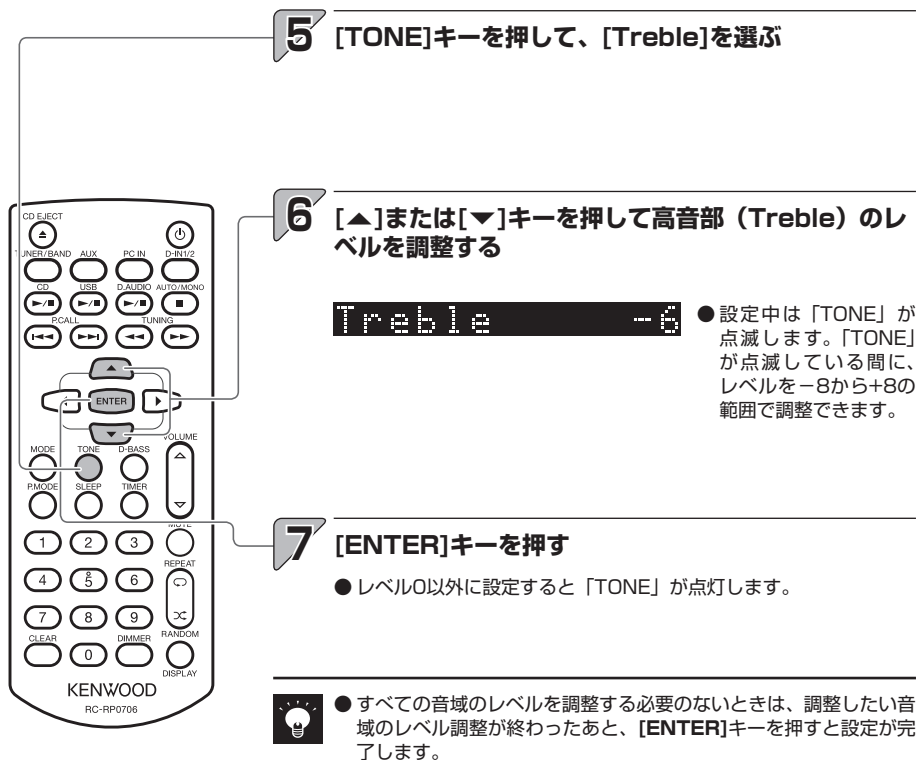
3 [TONE]キーを押して、[Mid]を選ぶ



4 [▲]または[▼]キーを押して中音部 (Mid) のレベルを調整する



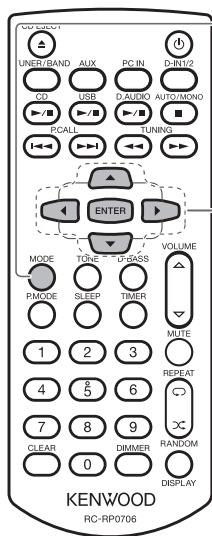
- 設定中は「TONE」が点滅します。「TONE」が点滅している間に、レベルを-8から+8の範囲で調整できます。



Supreme EX

CD やオーディオファイル、またはデジタル入力端子に接続された機器をケンウッド独自の音質向上技術でより高品位に再生します。

Supreme EXを設定する



1 [MODE]キーを押す

2 「SPRM Set」を選ぶ

[◀]または[▶]キーを押す

SPRM Set

● 設定中は「SPRM Set」が点滅します。

[ENTER]キーを押す

3 「On」または「Off」を選ぶ

[▲]または[▼]キーを押す

SPRM On

● 「SPRM On」に設定すると、「SPRM EX」が点灯し、「SPRM Off」に設定すると消灯します。

SPRM Off

[ENTER]キーを押す

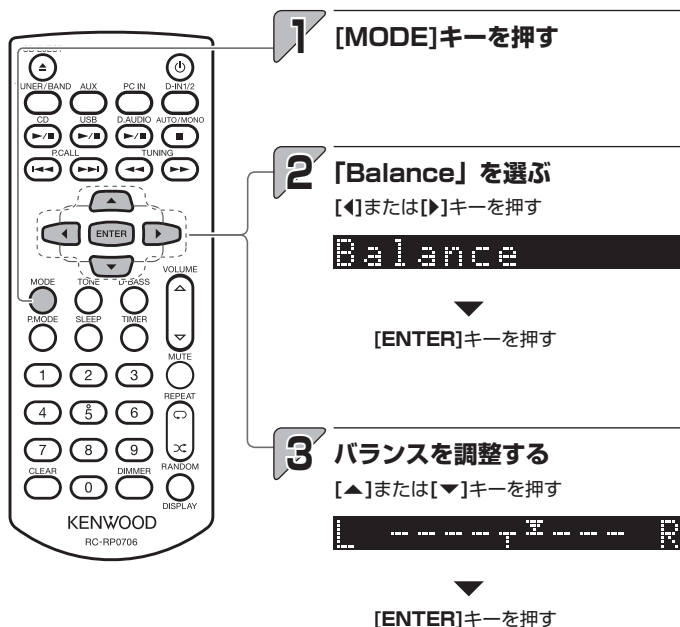


- 「CD」または「D-IN1」、「D-IN2」、「USB」、「PC-IN」(44.1kHz/48kHz)が選ばれているときにSupreme EX機能が働きます。
- Supreme EX機能が働いているときは、「SUPREME EX」インジケータが点灯します。
- 「D-IN1」または「D-IN2」が選ばれていて、入力信号が96kHz、88.2kHzの場合は、「SPRM EX」は消灯します。

Balance

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

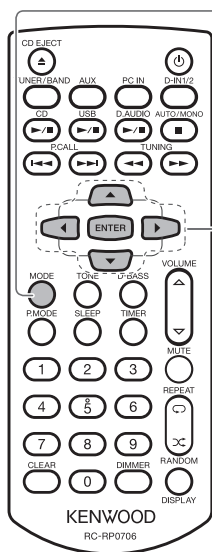
スピーカーの音量バランスを調整する



Rec Out Level

[AUX 録音出力] 端子に接続した機器に録音した音が歪む、または小さいと感じたときは録音出力レベルを調整します。

録音出力レベルを調整する



1 録音出力を調整したい音源に切り換える

2 [MODE]キーを押す

3 「Rec Out Level」を選ぶ
[◀]または[▶]キーを押す

Rec Out Level

▼
[ENTER]キーを押す

4 録音出力レベルを調整する
[▲]または[▼]キーを押す

Level +2

▼
[ENTER]キーを押す

● -5から+3の範囲で調整できます。

機器設定編

基本的な時刻設定のほか、タイマーやディスプレイ設定など、本機をより便利に使いこなしていただくための機能を説明しています。

時刻設定..... 64

タイマー設定

- ・おやすみタイマーを設定する (SLEEP) 65
- ・プログラムタイマーを設定する (Timer Set) 66

ディスプレイ設定

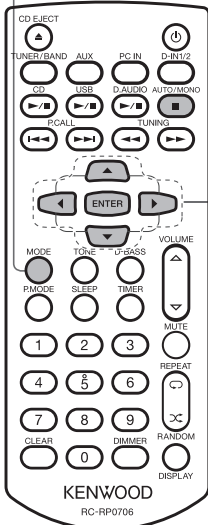
- ・ディスプレイの明るさを設定する (DIMMER) 71
- ・ディスプレイセーバーのオン/オフを切り換える 71

オートパワーセーブ..... 72



時刻設定

本機の曜日と時刻を設定します。



1 [MODE]キーを押す

2 「Time Adjust」を選ぶ
[◀]または[▶]キーを押す
Time Adjust ▶ [ENTER]キーを押す

3 曜日を合わせる
[▲]または[▼]キーを押す
Sun 12:00am ▶ [ENTER]キーを押す

4 時刻を合わせる
[▲]または[▼]キーを押して「時」を合わせる
Sun 8:00am ▶ [ENTER]キーを押す
[▲]または[▼]キーを押して「分」を合わせる
Sun 8:07am ▶ [ENTER]キーを押す

● 設定した曜日と時刻が表示されます。
Sun 8:07am



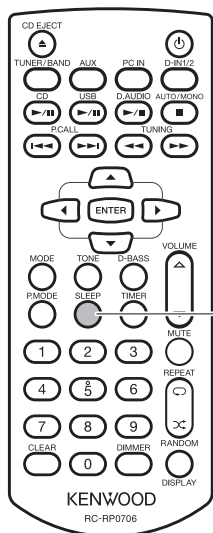
- 間違えたときは、はじめからやり直してください。
- 設定の途中でひとつ前の状態に戻るときは[◀]キーを押してください。
- 停電や電源プラグをコンセントに入れ直した場合は、もう一度時刻合わせをしてください。
- 電源がスタンバイ状態のとき、リモコンおよび本体の[■]キーを押すと5秒間時刻を表示します。
- プログラムタイマーで再生をする場合、時刻が正しく設定されていないと、正しい時間にプログラムを起動させることができません。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせる事をお勧めします。

タイマー設定

設定した時間が過ぎると自動的に電源がオフになるおやすみタイマーと、設定した時間になると、再生を始めるプログラムタイマーがあります。

おやすみタイマーを設定する (SLEEP)

設定した時間になると自動的に電源がオフになります。電源オフまでの時間を 10 分から 120 分まで設定できます。



1 [SLEEP]キーを押す

押すごとに次のように切り換わります。
120分の次はタイマーオフになります。



おやすみタイマー設定中

Sleep 10 — セットする時間

- おやすみタイマー動作中に[SLEEP]キーを押すと残り時間を確認できます。

- おやすみタイマーをキャンセルするには電源[]キーを押してオフ(スタンバイ)にするか、[SLEEP]キーを押して「OFF」を消灯します。

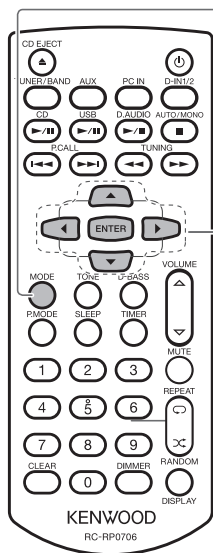


次ページに続く

プログラムタイマーを設定する (Timer Set)

タイマーを利用して、設定した時間に自動的に再生を開始します。2つのタイマー (Program 1、Program 2) を同時に設定しておくことができます。ラジオ、CD、iPod/iPhone、USB 機器、外部機器 (AUX 入力、DIGITAL IN 入力) を再生できます。

- あらかじめ本機の時計を合わせておいてください。(P.64参照)
- Program 1とProgram 2の作動する時間が重ならないように、1分以上の間を開けて設定してください。
- 設定の途中でひとつ前の状態に戻るときは[◀]キーを押してください。



1 [MODE]キーを押す

2 「Timer Set」を選ぶ

[◀]または[▶]キーを押す

Timer Set

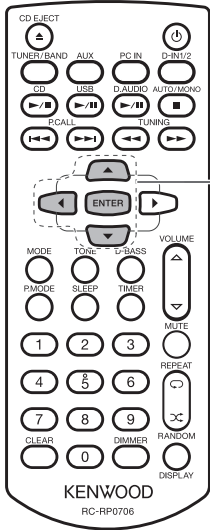
▼
[ENTER]キーを押す

3 「Program 1 Set」または「Program 2 Set」を選ぶ

[▲]または[▼]キーを押す

Program 1 Set

▼
[ENTER]キーを押す



4 「On」または「Off」を選ぶ

[▲]または[▼]キーを押す

Program | On

Program | Off

[ENTER]キーを押す

- 「Off」を選ぶと操作が終了し、もとの表示に戻ります。

5 タイマー実行曜日を選ぶ

[▲]または[▼]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。



[ENTER]キーを押す

- 「Everyday」、「Mon-Fri」、「Tue-Sat」または「Sat-Sun」を選んだ場合は、手順7に進みます。

6 「Every Week」または「Onetime」を選ぶ

[▲]または[▼]キーを押す

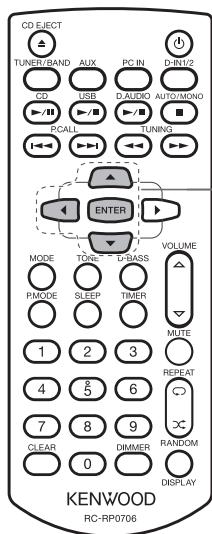
Every Week

- 毎週タイマーが実行されます。

Onetime

- 設定したタイマーが一度だけ実行されます。

[ENTER]キーを押す



7 「On」(開始時間)を設定する

[▲]または[▼]キーを押して
「時」を合わせる

●「時」が点滅します。

On 9:00am

▶ [ENTER]キーを押す



[▲]または[▼]キーを押して
「分」を合わせる

●「分」が点滅します。

On 9:15am

▶ [ENTER]キーを押す

8 「Off」(終了時間)を設定する

[▲]または[▼]キーを押して
「時」を合わせる

●「時」が点滅します。

Off 11:00am

▶ [ENTER]キーを押す

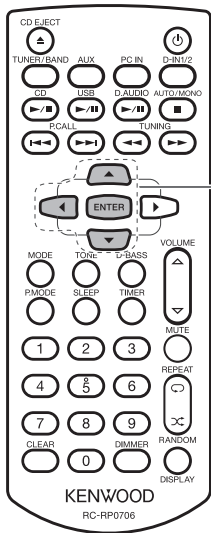


[▲]または[▼]キーを押して
「分」を合わせる

●「分」が点滅します。

Off 11:03am

▶ [ENTER]キーを押す



9 「Play」または「AI Play」を選ぶ

[▲]または[▼]キーを押す

Play

- 手順10で設定する音量で再生されます。

AI Play

- 設定した時刻に再生が始まり、手順10で設定する音量まで徐々に大きくなります。

[ENTER]キーを押す

10 音量を設定する

[▲]または[▼]キーを押す

Volume 30 ▶ [ENTER]キーを押す

- [VOLUME]キーでは設定できません。

11 音源を選ぶ

[▲]または[▼]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。



[ENTER]キーを押す

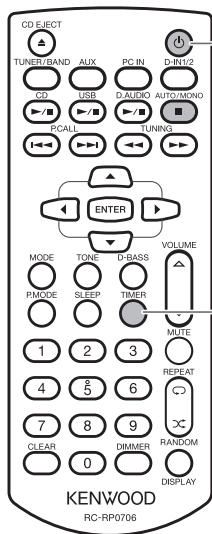
- 「TUNER」以外の音源を選んだときは設定が完了し「Complete」が表示された後、元の表示に戻ります。
- 「TUNER」を選んだときは[▲]または[▼]キーでプリセット番号を選び、[ENTER]キーを押します。設定が完了し「Complete」が表示された後、元の表示に戻ります。

次ページに続く



12 電源[⏻]キーを押して電源をオフにする

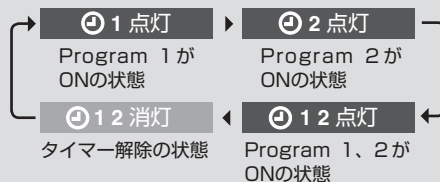
- 本体の[STANDBY/TIMER]インジケーターがオレンジ色に点灯します。
- 赤色に点灯した場合は、時計を合わせてください。



■タイマーを解除（オフ）/再設定（オン）するには

- 電源がオンのときに、[TIMER]キーを押す。

[TIMER] キーを押すごとに切り換わります。



- 停電や電源プラグをコンセントに入れ直した場合は、[STANDBY/TIMER]インジケーターがオレンジ色に点滅します。もう一度時刻を合わせてください。(P.64参照)



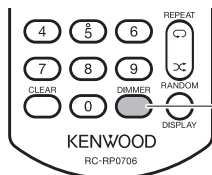
- 予約内容を変更したいときは、タイマー設定を最初からやり直してください。
- 電源がスタンバイ状態のとき、[■]キーを押すと5秒間タイマーのオン/オフ設定が確認できます。

ディスプレイ設定

ディスプレイの明るさを調節します。

ディスプレイの明るさを設定する (DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節できます。お好みやお部屋の状態によって調節してください。

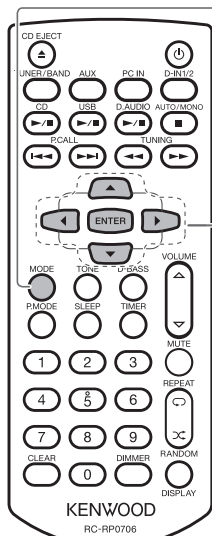


1 [DIMMER]キーを押す

- 押すたびにディスプレイの明るさが切り換わります。

ディスプレイセーバーのオン/オフを切り換える

本機を一定時間操作しない状態が続くとディスプレイがスクロール表示され、ディスプレイの文字の焼きつきや、輝度ムラを防ぎます。



1 [MODE]キーを押す

2 「Display Saver」を選ぶ

- [◀]または[▶]キーを押す

Display Saver

- [ENTER]キーを押す

3 「On」または「Off」を選ぶ

- [▲]または[▼]キーを押す

D. Saver On

- ディスプレイセーバーが働きます。

D. Saver Off

- ディスプレイセーバーがオフになります。

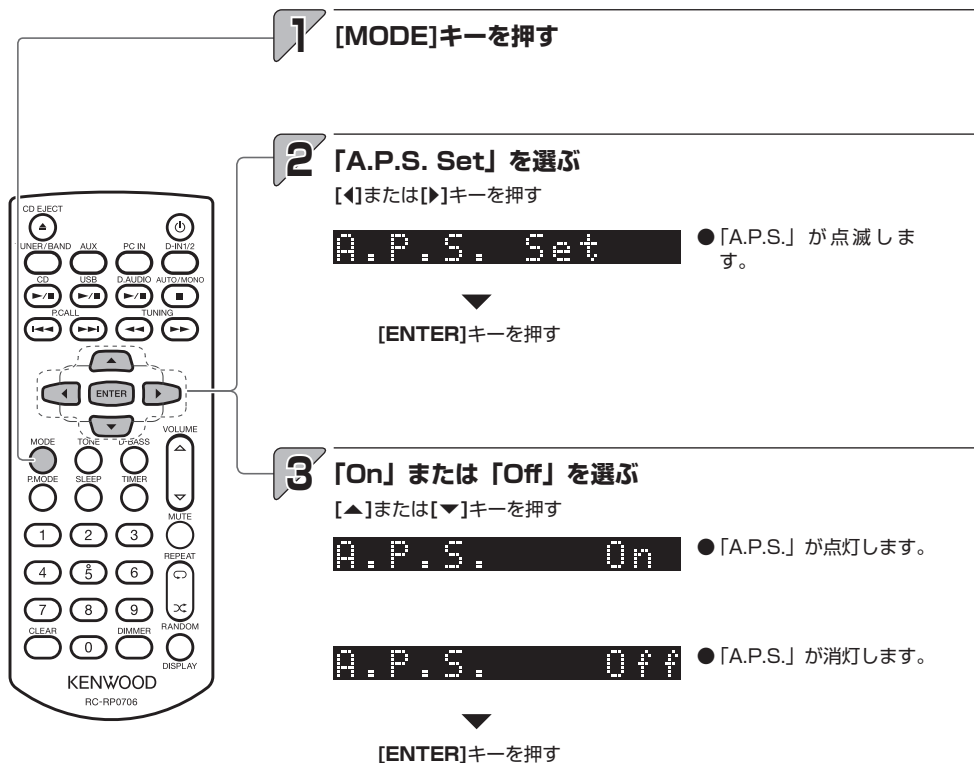
- [ENTER]キーを押す



- CDおよびUSBのときは、再生停止後10分間操作しない状態が続くとディスプレイセーバーが働きます。その他の音源を選んでいるときは、キー操作後10分間操作しない状態が続くとディスプレイセーバーが働きます。

オートパワーセーブ

オートパワーセーブ (A.P.S. : Auto Power Save) とは、CD または USB が停止したまま 30 分以上何も操作しないと、自動的に電源がオフになる機能です。



- 入力が「TUNER」、 「D.AUDIO」、 「D-IN1」、 「D-IN2」、 「AUX」、 「iPod」または「PC IN」のときは、音量がゼロ (VOLUME 0) またはMUTEがオンのときに働きます。外部機器に録音するときには、A.P.S.をオフにするか、音量を1以上にして録音してください。

保守編

エラーメッセージが表示されたときやトラブルが起きたときの対処方法、さらに長くご愛用いただくための保管やお手入れ方法について説明しています。

メッセージ表示一覧	74
故障かな？と思ったら	75
用語集	78
保管とお手入れ	79
保証とアフターサービス	80
定格	82
無料修理規定	83



メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意味
No Disc	CDが入っていない。 →CDを入れる。
No Program	曲がプログラムされていない。 →聞きたい曲をプログラムする。(P.32、38参照) →プログラムモードを解除して通常再生する。(P.33、39参照)
Program Full	プログラムで31曲目を選択しようとしている。 →プログラムできるのは30曲まで。(P.33、39参照)
Not Support	対応していないiPod/iPhoneが接続されている。(P.34参照)
Non-PCM	本機背面部の[デジタル入力]端子にPCM以外の信号が入力されている。 (P.15参照)
Unlock	本機背面部の[デジタル入力]端子や[PC IN]端子に接続されている機器の電源が入っていない。または信号が入力されていない。
---kHz	再生範囲外のサンプリング周波数のPCM信号が入力されている。
.....	TAG情報がない。(P.25参照)

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症状	処置	参照ページ
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。●音量を上げる。●ミュートを解除する。●ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。	12～15 22 22 15
[STANDBY/TIMER]インジケータの表示が赤く点滅し、音が出ない	<ul style="list-style-type: none">●スピーカーコードがショートしている。電源コードを抜いてスピーカーコードを接続し直す。●内部的な不具合が発生したと考えられる。本体の電源をオフにし、電源プラグを抜いて修理を依頼する。	—
ヘッドホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none">●ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。●音量を上げる。●ミュートを解除する。	15 22 22
「D-IN1」または「D-IN2」から音が出ない	<ul style="list-style-type: none">●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。●接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」に設定しているか確認する。	15
スピーカーの片側から音が出ない	<ul style="list-style-type: none">●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。●左右の音量バランスを確認する。	12 61
音量を調整するとカチカチと音がする	<ul style="list-style-type: none">●音量回路の切り替え音です。故障ではありません。	22
時刻表示が点滅している	<ul style="list-style-type: none">●「時刻設定」を参照し、時刻を合わせる。	64
タイマーが作動しない	<ul style="list-style-type: none">●「時刻設定」を参照し、時刻を合わせる。●プログラムタイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	64 66

チューナー部

症状	処置	参照ページ
放送局が受信できない	<ul style="list-style-type: none">●アンテナを接続する。●放送バンドを合わせる。●受信したい放送局の周波数に合わせる。	12 40 40
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">●外部アンテナを道路から離して設置する。●電気器具の電源を切ってみる。●テレビから離す。	—
プリセットコールができない	<ul style="list-style-type: none">●もう一度、自動で放送局をメモリーする。●受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	42 46



CD部

症状	処置	参照ページ
CDを入れても再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。 ●「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。 	28 79 79
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●[CD▶/II]キーを押す。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。 	28 79
音とびがする	●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。	79
再生できないオーディオファイルがある	<ul style="list-style-type: none"> ●オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 ●本機で再生できるオーディオファイルか確認する。 	25、26
再生するまでに時間がかかる	●フォルダの数が多いときは再生するまでに時間がかかる場合がある。	30
TAG情報が正しく表示されない	●「再生できるオーディオファイル」を参照し本機で表示できるTAG情報を確認する。	25、26

USB部

症状	処置	参照ページ
USBフラッシュメモリまたはUSBオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●USBフラッシュメモリを正しく差し込む。 ●USBケーブルを正しく接続する。 ●USBオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。 	14 36
iPod/iPhoneの音が出ない	●iPod/iPhoneが正しく接続されていない。iPod/iPhoneを本機から取り外し、接続し直す。	34
iPod/iPhoneが充電できない	●iPod/iPhoneが正しく接続されていない。iPod/iPhoneを本機から取り外し、接続し直す。	34

D.AUDIO端子に接続した機器

症状	処置	参照ページ
ケンウッド・デジタルオーディオプレーヤーがリモコン/本体で操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●別売の専用ケーブル PNC-150で接続する。 ●非対応モデルを接続していないか確認する。 	15 52

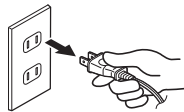


リモコン部

症状	処置	参照ページ
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。 	19 19

PC部

症状	処置	参照ページ
本機が認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● USB ケーブルで本機とパソコンを正しく接続する。 ● USB ハブを使って接続している場合は、ハブが正しく動作しているか確認する。または接続するポートを変える。 	14
音が出ない、または音が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ● PC の設定をする。 	49
音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声出力中、CPU に負担のかかる作業をしているときは、音が途切れることがあります。CPU に負担のかかる作業は控えてください。 ● 音声出力中にほかのUSB ケーブルの抜き差しをすると、音が途切れることがあります。音声の再生中に、ほかの機器のUSB ケーブルを抜き差ししないでください。 	—
雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 強い電磁波を発生するもの（テレビなど）の近くに本機が置かれていると、雑音が多くなる場合があります。強い電磁波を発生するものから十分に離して設置してください。 	11

マイコンをリセットするには

症状	処置
マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）する	<p>● 電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により、誤動作することがあります。次の手順に従い、マイコンをリセットしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグをコンセントから抜きます。  ② 再度本体の電源[⏻]キーを押しながら、電源プラグを差し込み直します。  ③ マイコンのリセットが始まると、右記のディスプレイが表示されます。  ④ リセットが終了し、スタンバイモードになります。 <ul style="list-style-type: none"> ● リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。



用語	意味	ページ
AAC	正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。	25
CD-DA	音楽CDのことです。一般的に「CD」といえば、ほとんどの場合、CD-DAを指します。	24
MP3	独Fraunhofer IISが開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/11（128kbps）に圧縮することができます。	25
USB	パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。本機はUSB 1.1、2.0に対応しています。	24
USBマストレージクラス	USB機器をパソコンで制御するための規格です。またパソコンに接続したUSB機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されることをいいます。	24
WMA	米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。	25
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を1秒間に何回行うかを示す数値です。音楽CDの場合は44.1kHzです。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となります。	25
タグ情報	タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、オーディオファイルに書き込まれている情報です。	25
ビットレート	1秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となります。	25

保管とお手入れ

本機の保管とお手入れ

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

■ 結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

■ 汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

CDディスクの保管とお手入れ

■ 保管するときは

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

■ 汚れたら

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは使わないでください。

■ その他お守りいただきたいこと

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。



保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは無料修理規定をご覧ください。

修理に関するご相談・ご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

- 商品や修理（アフターサービス）に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950 FAX 045-450-2308

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

■保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または当社のカスタマーサポートセンターが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

■出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをご知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (ご近所の目印等も併せてお知らせください。)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

■保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み (有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。



定格

本体部

[アンプ部]

実用最大出力	50 W+50 W (JEITA 6 W)
トーンコントロール特性	
BASS	±8 dB (100 Hz)
MID	±8 dB (1 kHz)
TREBLE	±8 dB (10 kHz)
D-Bass (+10)	+10 dB (55 Hz, Vol. 60)
入力端子 (感度/インピーダンス)	
LINE (AUX)	300 mV / 47 kΩ
LINE (D.AUDIO)	300 mV / 47 kΩ
出力端子 (レベル/インピーダンス)	
サブウーファーリアウト	2 V / 1 kΩ
LINE (AUX)	2 V / 1 kΩ

[デジタル部]

対応サンプリング周波数	
.....	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz
Supreme EX (CD, D-IN, USB, PC IN)	
再生可能周波数	1 Hz ~ 48 kHz
入力端子 (感度/波長)	
オプティカル	-15 dBm ~ -24 dBm, 660 nm ±30 nm

[USB部]

対応USB機器	USBマストレージクラスデバイス
インターフェイス	USB2.0(Full speed)USB1.1互換
対応ファイルシステム	FAT 16/32
供給電流	最大1 A

[チューナー部]

FMチューナー部	
受信周波数範囲	76.0 MHz ~ 90.0 MHz
アンテナインピーダンス	75 Ω不平衡
AMチューナー部	
受信周波数範囲	531 kHz ~ 1,602 kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
--------	-------------------------

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数	AC 100 V, 50 Hz/ 60 Hz
待機時消費電力	0.5 W以下
定格消費電力 (電気用品安全法に基づく表示)	65 W
最大外形寸法	
幅	245 mm
高さ	104 mm
奥行	309 mm
質量 (重量)	5.7 kg

[スピーカー部]

システム	2ウェイ2スピーカーシステム
エンクロージャー	バスレフ方式
スピーカーユニット	
ウーファー	12 cm コーン型
ツイーター	2.0 cm ドーム型
定格インピーダンス	6 Ω
最大入力	50 W
出力音圧レベル	84 dB / W at 1 m
再生周波数特性	45 Hz ~ 50 kHz
クロスオーバー周波数	5.5 kHz
最大外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	160 mm x 271 mm x 271 mm
正味質量	4.2 kg (1本)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い (水が凍るような) 場所では十分な性能が發揮できないことがあります。

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口にて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

- ① 保証書のご提示のない場合。
- ② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- ③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
- ④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- ⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
- ⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
- ⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等）
- ⑧ 製造番号の改変及び、取り外した製品。
- ⑨ 消耗部品（例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電機、イヤークリップ等）の交換。
- ⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

7. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。



保証書

持込修理用
(日本国内専用)

品名	コンパクトハイファイ コンポーネントシステム	型名	K-735
保証対象	本体	保証期間	(お買い上げ日より) 1年間
※お買い上げ日	年	月	日
※お客様	お名前	様	
	ご住所		
	電話番号	()	
※販売店	店名		
	住所		
	電話番号	()	

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町 3-12

0813KMYSANCDT